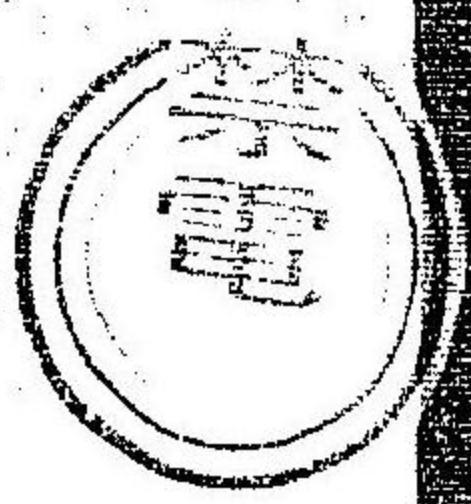
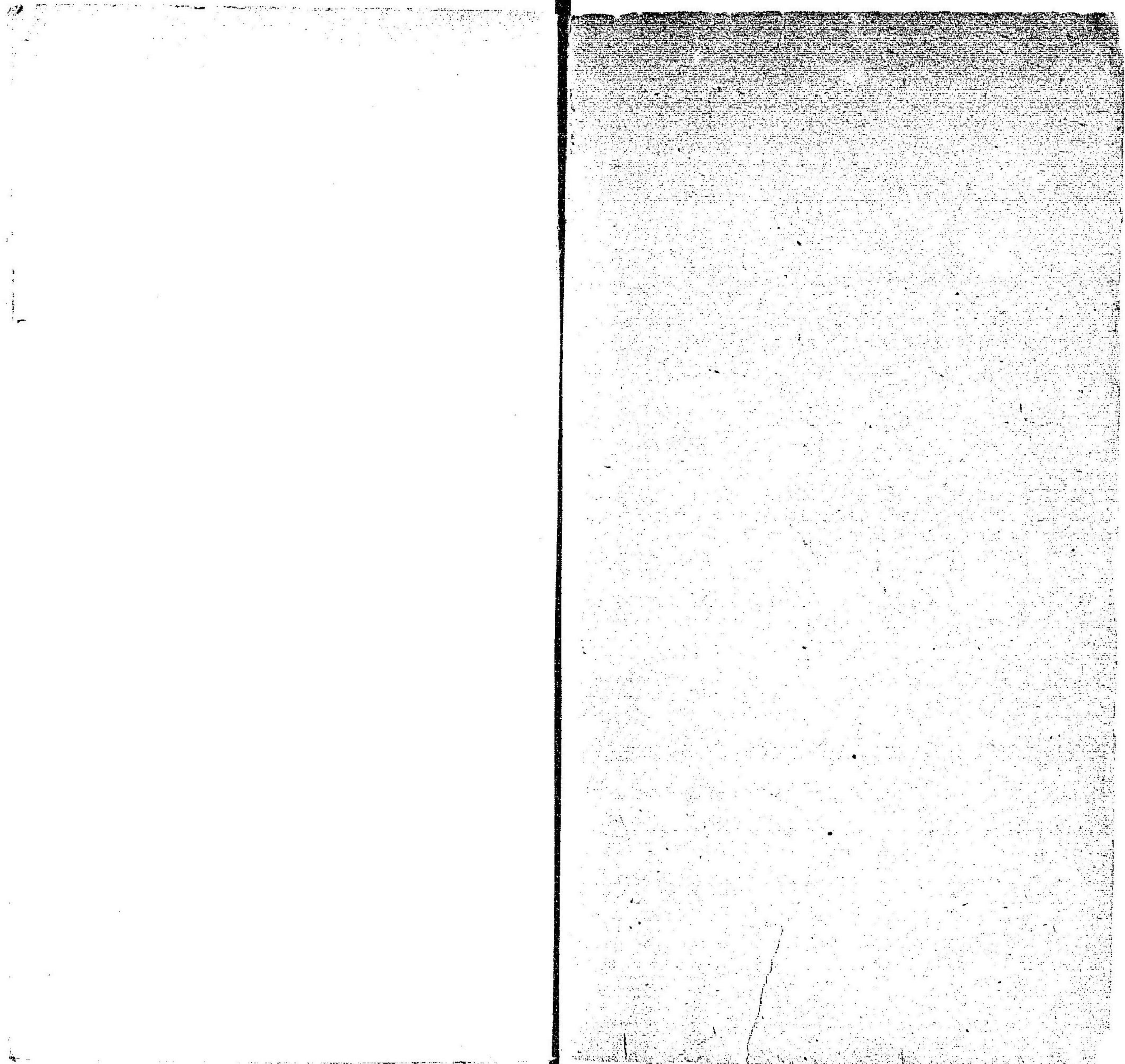


蠶絲業法規

C
148
44

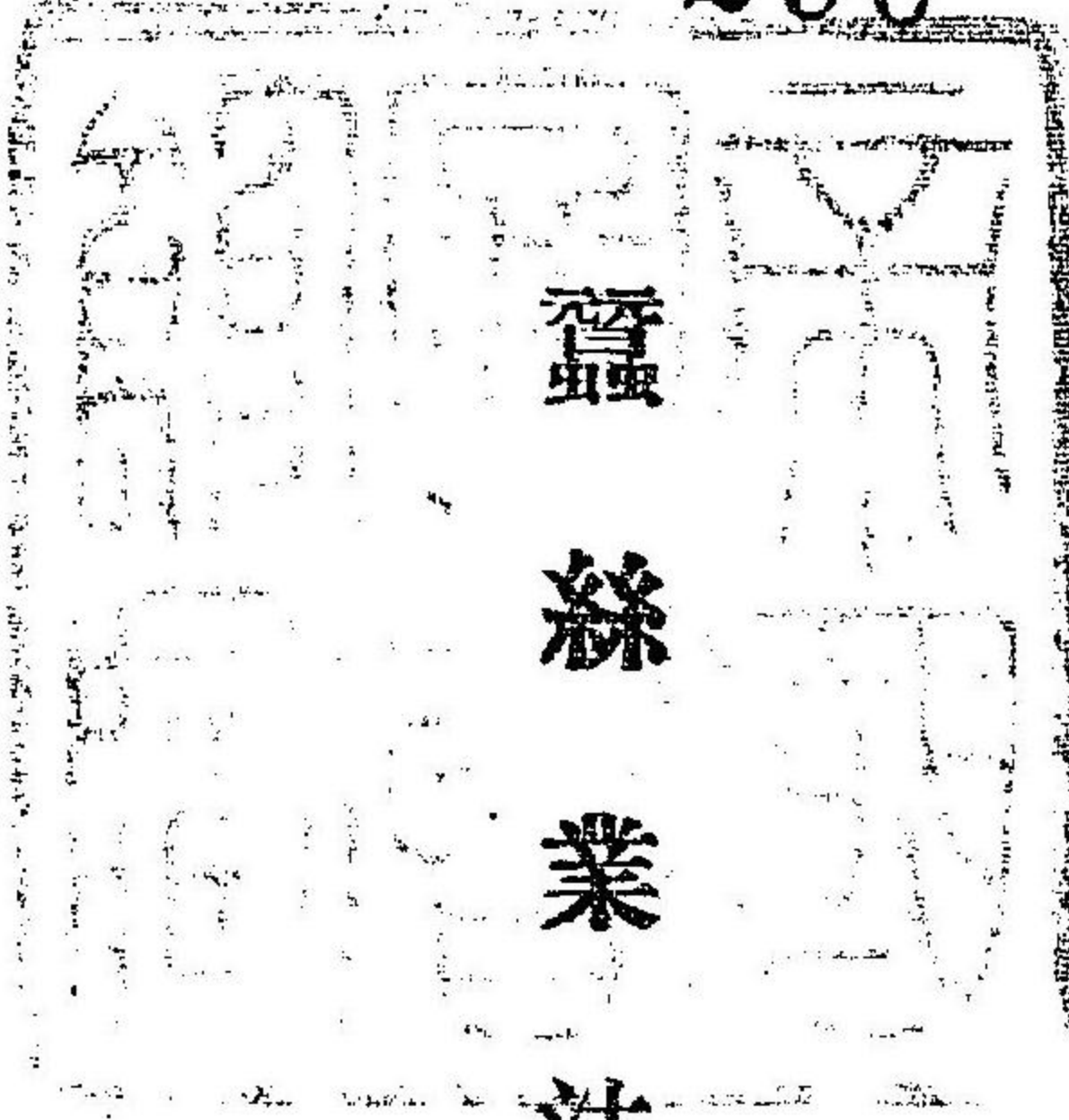


270
757

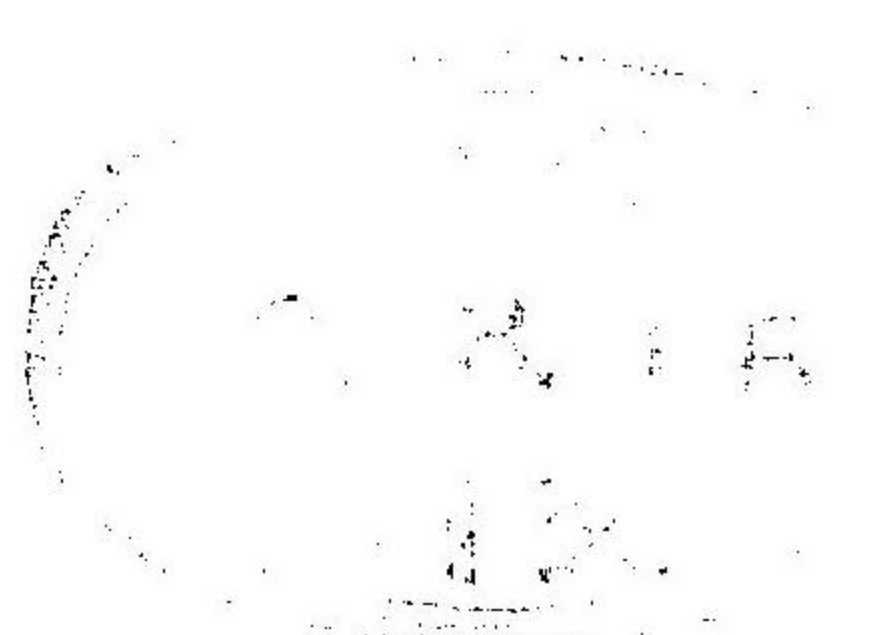


特 30

296



蠶絲業法規



CZ
1431
44-02

蠶絲業法規

目次

一 蠶絲業法	一頁
一 蠶絲業法施行規則	一一
一 蠶病豫防心得	五五
一 蠶絲業法施行手續	五九
附 錄	
一 新潟縣原蠶種製造所原蠶種配付規程	九七
一 桑園增殖獎勵費交付規程	一〇〇
一 製絲改良獎勵補助規程	一〇四
一 桑苗下付規則	一一〇

蠶絲業法

(明治四十四年三月二十八日
法律第四十七號)

第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、生絲製造、真綿製造、殺蛹乾繭又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ

第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿病及蠶蛆病ヲ謂フ、

第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶及驚蠶ノ病原微生物並蠶蛆及其ノ蛹、蠶ヲ滅殺シ其ノ他蠶病豫防ノ爲メ必要ナル施設ヲ爲スベシ

主務大臣ハ學術研究ノ爲メ蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得

第五條 蠶種製造者ヲラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クベシ

第六條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及器具ノ消毒ヲ行フベシ

第七條 蠶種製造者ハ第十一條第二項及第十二條ノ規定ニ依ル特別蠶種ヨリ産出シタル繭ヲ用ウルニ蠶絲業法

非ザレバ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

第八條 蠶種製造者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル繭又ハ蛾ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

一 蠶兒ノ合同シテ作りタル繭

二 繭層片薄ナル繭又ハ形状不整ナル繭

三 繭層ノ量繭ノ全量百ニ對シ一化性ニ在リテハ十一、二化性ニ在リテハ八、多化性ニ在リテハ

七ニ達セザルモノ

四 蠶兒ノ發育不良ニシテ收繭ノ量著シク減少シタルモノ

五 體軀ノ不完全ナル蛾

六 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ニ非ザル者ノ飼育シタル蠶兒ヨリ産出シタル繭

第九條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ト同一ノ飼育時期ニ於テ製絲用ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレバ蠶種製造用ノ蠶兒讓渡ヲシ又ハ讓受クルコトヲ得ズ

第十條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄他ノ蠶種製造者又ハ養蠶者ト

同一ノ建物又ハ蠶具ヲ共用スルコトヲ得ズ

第十一條 蠶種製造者ハ收繭後ニ於テ掃殻及繭、産卵後ニ於テ越年蠶種ニ在リテハ出殻繭及卵不越年

蠶種ニ在リテハ出殻繭ニ付検査ヲ受ケベシ但不越年蠶種ニ在リテハモ卵ノ検査ヲ受ケシムルヲ得

蠶種製造者蠶種ヲ特別蠶種ト爲サムトスルトキハ之ヲ框製トシ前項ノ検査ノ外越年蠶種ニ在リテ

ハ母蛾不越年蠶種ニ在リテハ卵及母蛾ノ検査ヲ受ケベシ

第十二條 主務大臣ハ前條ノ規定ニ拘ラズ原蠶種製造所、學校、講習所、試験場等ニ於テ製造シタル

蠶種ヲ特別蠶種ト指定スルコトヲ得

第十三條 地方長官ハ第十一條ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セザル蠶種

ハ之ヲ燒棄スベシ

第十四條 検査合格ノ證印ナキ蠶種及其ノ蠶兒ハ之ヲ讓渡シ又ハ飼育スルコトヲ得ズ但シ第十二條ノ

規定ニ依リ指定セラレタル特別蠶種及其蠶兒ヲ讓渡シ若ハ飼育シ又ハ第十七條但書ノ規定ニ依リ

移入若ハ輸入シタル蠶種ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ妨ゲズ

第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタル検査合格ノ證印ヲ發見シタルトキハ遲滯

蠶絲業法

ナク之ヲ抹消スベシ

四

第十六條 蠶種製造者ニ非ザル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

主務大臣必要ト認ムルトキハ學術研究又ハ家用ノ爲ニスル蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ許可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法中蠶種製造者ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ製造シタル蠶種及其ノ蠶兒ハ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル特別蠶種及其ノ蠶兒ヲ除クノ外之ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第十七條 本法ヲ施行セザル地又ハ外國ニ於テ製造シタル蠶種ハ之ヲ移入シ又ハ輸入スルコトヲ得ズ但シ學術研究ノ爲主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 主務大臣必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造若ハ其ノ讓渡、讓受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニ依リ地方長官ヲシテ前項ノ制限ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條 主務大臣ハ蠶種又ハ繭ノ賣買又ハ取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得
第二十條 蠶種ノ選紙ニ關シ取締上必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 蠶種ノ冷蔵ヲ業トセムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クベシ

第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第十一條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クベシ

第二十三條 主務大臣及地方長官ハ必要ニ應ジ種繭ノ審査及原蠶種ノ選定ヲ行ハシムル爲種繭審査會ヲ設クベシ

種繭審査會ノ設置、組織、權限及審査選定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 第五條、第七條、第八條第六號、第十一條及第三十八條乃至第四十一條ノ規定ハ府縣ニ之ヲ適用セズ

第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育採種又ハ野蠶生繭ノ取扱ヲ業トスル者ニ第四條第一項ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第二十六條 蠶病豫防事務及地方種繭審査會ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ同庫ハ其ノ半額以内ヲ補助スルコトヲ得

第二十七條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種検査ニ關シ手数料ヲ徵收スベシ
蠶絲業法

五

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 前條ノ同業組合聯合會及一府縣以上ヲ地區トスル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セザル者ハ相互ノ氣脈ヲ通シ及蠶絲類ノ海外貿易ノ發展其他蠶絲業ノ利益増進ヲ圖ル爲メ全國ヲ地區トシテ蠶絲業同業組合中央會ヲ設置スルコトヲ得

主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ニ掲ゲタル者ノ外同業組合聯合會ニ加入セザル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ蠶絲業同業組合中央會ニ加入スベキ者ヲ指定スルコトヲ得

第三十條 蠶絲業同業組合中央會ノ設置ヲ發起セムルトスル者ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ發起人ハ同業組合聯合會一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セザル者及前條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同業組合ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十一條 蠶絲業同業組合中央會成立シタルトキハ同業組合聯合會一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セザル者及第二十九條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル

同業組合ハ之ニ加入スベシ

第三十二條 蠶絲業同業組合中央會ノ會議ハ之ヲ組織スル同業組合聯合會及同業組合ニ於テ同業組合ノ組合員中ヨリ選舉シタル職員ヲ以テ組織スベシ

主務大臣ハ蠶絲業同業組合中央會ノ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エザル特別議員ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 蠶絲業同業組合中央會議員ノ定數配當及選出方法並役員ノ名稱選任解任及權限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 重要物産同業組合法第六條、第七條第十一條乃至第十六條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第三十五條 當該官吏吏員ハ蠶病豫防ニ關シ蠶種又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舖、倉庫、製造場、飼育場等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニシテ物品ヲ收去スルコトヲ得

地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏吏員ヲシテ前項ニ掲ゲタル場所ニ臨檢シ犯罪嫌疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件蠶絲業法

帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之ガ差押ヲ爲サシムルコトヲ得

臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第三十六條 當該官吏吏員ハ自己親族又ハ同居者ニ對シ第十一條ノ檢査ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞

アリト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

前項ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得其ノ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條ノ檢査ヲ受ケタル者

二 第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ違反シタル者

第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 免許ヲ受ケズシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタル者

二 免許ヲ受ケズシテ蠶種冷蔵ノ業ヲ爲シタル者

三 第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

四 第七條、第八條又ハ第十六條第三項ノ規定ニ違反シタル者

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者

二 第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第四十一條 第三十八條、第三十九條第一號第四號又ハ前條第二號ノ犯罪ニ係ル蠶種蠶兒又ハ爾ハ之

ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於テハ其ノ價格ヲ追徵ス

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得

第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏吏員ノ

尋問ニ對シ答辨ヲ爲ササル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治産者カルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ

適用スベキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年

者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

蠶絲業法

第四十四條 蠶絲業者ハ其ノ代理人戶主家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出ヅアルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ但シ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第四十六條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス

第四十八條 本法ハ沖繩縣、小笠原嶋、伊豆七嶋其ノ他命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セズ

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ證印ハ之ヲ本法ニ依ル検査合格ノ證印ト看做ス

第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷蔵ヲ業トスル者ハ本法施行後一年ヲ限リ免許ヲ受ケズシテ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

蠶絲業法施行規則

(明治四十四年十月三日 農商務省令第三十號)

第一條 蠶絲業法第五條ノ免許ハ蠶種製造場所所在地ノ地方長官之ヲ行フモノトス但シ蠶種製造場所所在地ト蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所所在地トカ之ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル場合ニ於テハ關係地方長官之ヲ行フモノトス

第二條 前條ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シ蠶種製造場所所在地ノ地方長官ニ差出ヌヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所

二 蠶種製造場所

三 別ニ蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所ヲ有スルトキハ其ノ場所

四 蠶種製造ノ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名、住所

蠶絲業法施行規則

五 蠶室ノ數及面積蠶具ノ種類及數並桑園ノ畝別又ハ桑葉量
六 掃立蠶量及蠶種製造額概定數

地方長官蠶種製造ノ免許ヲ與ヘタルトキハ様式第一號ノ免許證ヲ下付スヘシ
第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶種製造ノ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一 掃立蠶量及蠶種製造額概定數ニ對スル蠶室蠶具及桑園ノ設備若ハ桑葉ノ準備ヲ有セサル者
二 三年以上蠶種製造ニ從事セサル者若ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有セサル者又ハ蠶種製造ノ
管理者ヲ置カサル者

三 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セサル者
免許ヲ受ケタル蠶種製造者正當ノ理由ナクシテ一年間蠶種ノ製造ヲ爲サザルトキ又ハ前項各號ノ
一ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第四條 蠶種製造ノ管理者ハ三年以上蠶種製造ニ從事シ又ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有スル者ニシ
テ前條第一項第三號ニ該當セサル者タルコトヲ要ス
蠶種製造ノ管理者ハ二人以上ノ蠶種製造者ノ業務ヲ管理スルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ他ノ蠶種製造者ノ管理者タルコトヲ得ス

第五條 蠶種製造者ハ左記事項ヲ毎年地方長官ニ届出ツヘシ

- 一 化性、化期越年、不越年ノ別及名稱
- 二 掃立豫定月日
- 三 掃立豫定蠶數及蠶量
- 四 蠶種製造額豫定數

第六條 蠶種製造者ハ他人ヨリ讓受ケタル蠶兒又ハ種繭ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス但シ避クヘ
カラサル災害ニ依リ豫定數ヲ製造スルコト能ハサル場合及第七十七條第二項但書ノ場合ハ此限ニ
在ラス

第七條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ左記事項ヲ毎年生繭ノ取扱場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツヘシ

- 一 氏名若ハ名稱、住所及蠶絲業ニ關スル業種
- 二 生繭取扱場所

蠶絲業法施行規則

三 生繭取扱豫定月日

四 生繭取扱豫定數量

生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ其ノ取扱場所ヲ管理セサルトキハ自己ニ代ルヘキ管理者ヲ置キ其ノ氏名住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ハ養蠶者、蠶種製造者及自家用ノ爲ニスル生繭取扱者ニ之ヲ適用セス

第八條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者死亡シ中途廢業シ又ハ免許願書若ハ第五條又ハ前條ノ届書ノ記載事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項死亡ノ場合ニ於ケル届出ハ其ノ相續人ヨリ之ヲ爲スヘシ

第九條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ被相續人ノ死亡後七日以内ニ許可ノ出願ヲ爲シタルトキハ其ノ拒否ノ處分ヲ受ケル迄ノ間引續キ被相續人ノ業務ヲ承繼スルコトヲ得

第十條 蠶種製造者又ハ第七條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル生絲製造者眞綿製造者又ハ生繭ノ賣買、

仲立、保管若ハ殺蛹乾繭ニ從事スル者ハ蠶種製造用ノ蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所毎ニ様式第二號ノ標札ヲ掲ケヘシ

第十一條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蟹蛆若ハ其ノ蛹、蠅ヲ發見シタルトキハ直チニ之ヲ壓殺、熱殺又ハ水殺スヘシ

第十二條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認ムル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ直チニ之ヲ燒棄シ又ハ熱湯、「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入シ死籠繭又ハ薄皮繭ハ直チニ之ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スヘシ

第十三條 蠶兒ノ飼育ヲ爲ス者ハ多數ノ病蠶ヲ生シ蠶病蔓延ノ虞アル場合ニ於テハ健蠶ヲ他ニ移シ病蠶及斃蠶ハ前條ニ規定シタル方法ニ依リテ處理シ其ノ蠶室及蠶具ハ第十九條ニ規定シタル方法ニ依リ之ヲ消毒スヘシ

第十四條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散又ハ保存スル室ニ蟹蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ目張ヲ爲シ又ハ澁紙其ノ他緻密ナル目ノ敷物ヲ布キ且室ノ内圍ニ下部ヨリ高サ二寸チ下ラサル障板ヲ設クヘシ但シ繭ノ障板ニ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ヲ保ダシムヘシ

蠶絲業法施行規則

蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ構造ノ室ナルトキ又ハ同様ノ容器中ニ生繭ヲ保存スル場合ニ於テハ前項ノ設備ヲ爲スヲ要セス

第一項ノ規定ハ室ノ一部ニ生繭ヲ集散又ハ保存スル場合ニ之ヲ準用ス

床下ニ蠶蛆若ハ其ノ蛹潜伏ノ虞アルトキハ床下掃除ヲ行ヒ其ノ塵芥ノ處理ヲ爲スヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防クニ足ル設備ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ運搬シ若ハ之ヲ運搬セシメムトスルトキハ蠶蛆又ハ其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ綿布、麻布等ヨリ成ル容器中ニ之ヲ納ムヘシ

第十六條 地方長官ハ蠶蛆散逸ノ虞ナキ季節又ハ蠶蛆加害ノ虞ナキ土地ニ於テ蠶兒ノ飼育若ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニハ第七條、第十四條及前條ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第十七條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ上篋以後蠶種ノ製造ヲ終ル迄其ノ建物内ニ自己ノ生産シタル繭ノ外種繭ニ非サル生繭ヲ置クコトヲ得ス

第十八條 蠶種製造者ハ特別蠶種ノ母蛾ヲ除クノ外蠶種製造ニ供用シタル蛾及蠶絲業法第八條第五號ニ該當シタル蛾ヲ乾燥若ハ燒棄シ又ハ熱湯、「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入スヘシ

第十九條 蠶種製造者ハ蠶室ハ左記第一號ニ定メタル方法、蠶具ハ左記各號ノ一ニ定メタル方法ニ依

リ之ヲ消毒スヘシ但シ新築ノ蠶室若ハ新調ノ蠶具ニシテ當該官吏員必要ナシト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 「フオルマリン」撒布消毒

二 蒸汽消毒

三 蟻酸「アルテロド」瓦斯消毒

當該官吏員前項ノ消毒ヲ完全ナリト認ムルトキハ様式第三號蠶病消毒濟證ヲ蠶種製造者ニ下付シ不完全ナリト認ムルトキハ更ニ之ヲ行フヘキコトヲ命スヘシ

第二十條 蠶種製造者ハ掃立ノ際蠶量ヲ正確ニ秤量シ直チニ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十一條 蠶種製造者蠶兒ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡サムトスル場合ニ於テ其ノ讓受人蠶種製造者ナルトキハ雙方運器シ蠶種製造者ニ非ラサルトキハ讓渡人ヨリ蠶兒讓渡許可申請書ヲ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

前項ノ申請アリタルトキハ蠶業取締所ハ讓渡スヘキ蠶兒及ビ之ニ對スル掃殺ト申請書トヲ對照シ蠶絲業法施行規則

讓渡人ニ蠶兒讓渡證明書ヲ、讓受人蠶種製造者ナルトキハ之ニ蠶兒讓渡證明書ヲ下付ス

讓受人蠶種製造者ニシテ讓渡人ト蠶業取締所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ前項ノ手續ヲ終リタル後蠶業取締所ハ其ノ旨ヲ直チニ讓受人所轄蠶業取締所ニ通知スヘシ

第二十二條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ニ供用シタル蠶紙ヲ再用スルコトヲ得ス

第二十三條 蠶種製造者ハ越年蠶種ニ在リテハ産卵前、不越年蠶種ニ在リテハ第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶紙ヲ差出ス前特別蠶種ハ様式第四號ニ依リ蠶紙ノ表面ニ、普通蠶種ハ様式第五號ニ依リ蠶紙ノ裏面ニ化性及越年不越年ノ別、名稱製造者ノ氏名若ハ名稱、住所及製造場所ヲ記載シ尙特別蠶種ニハ種爾證明書ノ異ナルモノ毎ニ記載チ、記號ノ異ナルモノ毎ニ番號ヲ普通蠶種ニハ産卵蠶數ヲ記載スヘシ

前項ノ化性及名稱ハ蠶種ヲ製造スヘキ繭ヲ産出シタル特別蠶種ノ化性及名稱ヲ襲用スヘシ
蠶種製造者ハ越年蠶種ニ在リテハ産卵後ノ検査前、不越年蠶種ニ在リテハ産卵後直チニ特別蠶種ハ蠶紙ノ表面ニ普通蠶種ハ蠶紙ノ裏面ニ産卵ノ月日ヲ記載スヘシ
冷蔵ヲ爲ス越年蠶種ニハ化性ノ下ニ冷蔵ノ二字ヲ記載スヘシ

第二十四條 蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ニ從事スル者ハ前條ノ規定ニ依リ蠶種ノ産紙ニ記載シタル文字ヲ訂正増加又ハ抹消スルコトヲ得ス但シ蠶種製造者ニシテ自己ノ製造シタル蠶種ニ付検査前ニ在リテハ地方長官ノ承認検査後ニ在リテハ其ノ許可ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラス
前條ノ規定ニ依リ蠶紙ニ記載シタル文字ノ訂正増加若ハ抹消ヲ承認又ハ許可シタルトキハ其ノ文字ノ上ニ様式第六號ノ變更印ヲ押捺ス

第二十五條 蠶種製造者ハ蠶種ノ産紙ヲ縦一尺一寸七分横七寸四分ノ厚紙トシ特別蠶種ニ在リテハ内徑一寸三分以上ノ圓環ヲ容ルルコトヲ得ヘキ區劃二十八箇ヲ設ケ一母蛾チシテ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其ノ區ト同一ノ符號ヲ附シ普通蠶種ニ在リテハ百蛾以内ヲシテ一枚ニ産卵セシムヘシ

第二十六條 蠶絲業法第十一條ノ規定ニ依リ検査ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ行フ但シ不越年特別蠶種ニ在リテハ第三號ノ検査ヲ第二號ノ検査前ニ之ヲ行フコトヲ得

- 一 收繭後ノ検査 繭、掃、殺
- 二 産卵後ノ検査 卵、出殼繭
- 三 不越年普通蠶種ニ在リテハ出殼繭

蠶絲業法施行規則

三 母蛾ノ検査

特別蠶種ト爲スヘキモノノ母蛾

第二十七條 前條規定ノ收購後ノ検査及産卵後ノ検査ハ肉眼ニ依リ對照シテ之ヲ行ヒ不越年普通蠶種ノ出殻繭ノ検査ハ肉眼ニ依リ之ヲ行ヒ母蛾ノ検査ハ顯微鏡ヲ用ヒテ之ヲ行フ

第二十八條 地方長官必要ト認ムルトキハ不越年普通蠶種ノ卵ノ検査ヲ行フコトヲ得
前項ノ検査ハ肉眼ニ依リ卵ト出殻繭トヲ對照シテ之ヲ行フ

第二十九條 地方長官ハ左記各號ノ一ニ該當シタル場合ニ於テハ其ノ蠶種ニ對シ卵ノ顯微鏡検査ヲ行フコトヲ得

- 一 有毒蛾區ノ切拔多キ特別蠶種ヨリ拵立タルコト
 - 二 微粒子病ニ罹レル蠶兒蠶蛹又ハ蠶蛾多キコト
 - 三 蠶絲業法第八條第二號又ハ第三號ニ該當シタル繭多キコト
 - 四 蠶絲業法第八條ニ違反シタル疑アルコト
 - 五 特別蠶種ノ母蛾ノ取替者ハ混亂ノ疑アルコト
- 第三十條 普通蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ハ蠶種一枚ニ付十鏡面ヲ檢シ三鏡面以上ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ其ノ蠶種ハ之ヲ不合格トス

特別蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ハ母蛾検査ニ於テ無毒ト認メラレタル區毎ニ一鏡面ヲ檢シ十分ノ一區未滿ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ其ノ區ハ之ヲ不合格トシ十分ノ一區以上ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ特別用印ヲ取消シ之ヲ普通蠶種トス

第三十一條 地方長官第二十九條ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ同一ノ種繭證明書ヲ有スル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニシテ其ノ製造額ノ十分ノ二ニ相當スル數量ニ付前條ノ規定ニ依ル検査ヲ行ヒ特別蠶種ニ在リテハ其ノ十分ノ五以上ヲ普通蠶種ニ普通蠶種ニ在リテハ其ノ全部ヲ不合格ニ爲シタルトキハ其ノ製造ノ全部ニ對シ同一ノ處分ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テ第三十四條第二項ニ依リ區別シタル種繭ニ對シ各別ニ交付シタル種繭證明書ハ之ヲ同一ノモノト看做ス
前條第二項又ハ前項ノ規定ニ依リ特別蠶種ヲ普通蠶種ニ爲シタル場合ニ於テ其ノ蠶種ノ産卵區ニ押捺シタル無毒印ハ之ヲ取消ス

第三十二條 地方長官必要ト認ムルトキハ第三十條第二項、前條第一項、第五十四條又ハ第五十五條第二項ノ規定ニ依リ普通蠶種ト爲シタル蠶種ニ對シ第三十條第一項ノ規定ニ依ル検査ヲ行フコト
蠶絲業法施行規則

ヲ得

第三十三條 收購後ノ検査、越年特別蠶種及普通蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ハ蠶種製造場所ニ付テ之ヲ行

ヒ母蛾ノ検査、第三十條ノ検査及不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行

フ但シ地方ノ情况ニ依リ不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ヲ蠶種製造場所ニ於テ行フコトヲ得

第三十四條 蠶種製造者ハ收購後ノ検査ヲ受ケル前種繭ト爲サムトスルモノヲ選別シ其ノ樹量ト收購

總樹量トヲ量定シ且蠶絲業法第八條第一號乃至第三號ニ該當スル繭及種繭ト爲サザル繭ヲ殺蛹ヲ

爲スヘシ

第七十四條ノ審査ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ種繭ト爲サムトスル繭ニ付審査ヲ受ケムトスルモノ

ト否下ヲ區別スヘシ

第三十五條 蠶量一匁ニ對シ收購ノ量ニ化性ニ在リテハ二斗未満ニ化性ニ在リテハ一斗六升未満、多

化性ニ在リテハ一斗三升未満ナルトキハ蠶絲業法第八條第四號ニ該當スルモノトス

第三十六條 翅肢ノ缺如若ハ萎縮、鱗毛ノ剝脱、體色ノ異變又ハ腹部ノ過大其ノ他形態ノ整ハサル蛾

ハ蠶絲業法第八條第五號ニ該當スルモノトス

第三十七條 蠶種製造者ハ收購後ノ検査ヲ終ル迄、掃殻及繭ヲ産明後ノ検査ヲ終ル迄出殻繭ヲ蠶種製

造場所以外ニ搬出スルコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合又ハ譲渡シタル蠶兒ニ對ス

ル掃殻ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 蠶種製造者ハ化性、名稱、製造者又ハ製造場所ノ異ナル蠶種ヨリ産出シタル蠶兒、繭、

蛾、卵、飼育場所ノ異ナル蠶兒、繭、蛾、卵ヲ混同スルコトヲ得ス

地方種繭審査會ノ審査ヲ受ケムトスル種繭共ノ審査ニ合格シタル種繭及其ノ蛾、卵ニ在リテモ亦

同シ但シ收購後ノ検査ヲ終リタル繭ニシテ種繭ニ非サルモノ、産卵後ノ検査ヲ終リタル出殻繭及

特別蠶種ノ母蛾ヲ除クノ外蠶種製造ニ供用シタル蛾ハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 地方長官ハ蠶種製造者ニ對シ化性又ハ名稱ノ異ナル蠶蛾ヲ用井ル掛合蠶種ノ製造ヲ許可

スルコトヲ得

第四十條 掛合蠶種ノ化性ハ雌蛾ニ依リ名稱ハ雌蛾者ハ雄蛾ニ依リ掛合ナル文字ヲ冠スヘシ

第四十一條 蠶種製造者ハ地方長官ノ許可ヲ得テ第二十三條第二項ノ規定ニ依リ費用スヘキ化性及名

稱ヲ變更スルコトヲ得

蠶絲業法施行規則

前項ニ依リ許可ノ出願アリタルトキハ地方長官ハ當該官吏吏員ヲ臨檢セシメ適當ト認メタルトキハ其ノ許可ヲ與フヘシ

第四十二條 收繭後ノ検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ其ノ繭ヲ產出シタル蠶種ノ化性名稱製造者製造場所又ハ蠶兒ノ掃立時期、飼育場所ノ異ナルモノ毎ニ、第三十四條第二項ノ場合ニ於テハ各別ニ様式第七號種繭證明書ヲ蠶種製造者ニ下付シ検査ヲ終リタル掃殼ノ臺紙ニハ様式第八號掃殼検査濟印ヲ押捺ス

掛合蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭及第四十一條第二項ノ規定ニ依リ名稱ノ變更ヲ許可シタル種繭ノ樹量ハ之ヲ種繭證明書ニ記載スヘシ

第四十三條 蠶種製造者種繭證明書ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ所轄蠶業取締所ニ其ノ再下付ヲ請求スルコトヲ得但シ毀損シタル種繭證明書ハ其ノ請求書ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ再下付ヲ爲シタル種繭證明書ニハ様式第九號再下付印ヲ押捺ス

第四十四條 蠶種製造者種繭ヲ他人ニ讓渡サルトスル場合ニ於テ其ノ讓受人蠶種製造者ナルトキハ雙方運署シ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ、種繭ノ全部讓渡ニ付テハ種繭證明書ノ書換ヲ、一部ノ讓渡

ニ付テハ讓渡人ハ種繭證明書ノ書換ヲ、讓受人ハ種繭證明書ノ下付ヲ請求シ其ノ讓受人蠶種製造者ニ非サルトキハ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ種繭ノ全部讓渡ニ付テハ種繭證明書ヲ返納シ一部ノ讓渡ニ付テハ其ノ書換ヲ請求スヘシ

前項ノ規定ニ依リ種繭ノ授受ヲ終リタルトキ讓受人蠶種製造者ナルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ所轄蠶業取締所ニ届出ツヘシ

第一項ノ書換又ハ下付ヲ爲シタル場合ニ於テ讓受人蠶種製造者ニシテ讓渡人ト蠶業取締所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ蠶業取締所ハ其ノ旨ヲ遲滞ナク讓受人ノ所轄蠶業取締所ニ通知スヘシ

第四十五條 蠶種製造者不越年蠶種ノ種繭證明書ノ下付ヲ受ケタルトキハ臺紙及種繭證明書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出シ特別用印又ハ普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ様式第十號特別用印又ハ様式第十一號普通蠶種検査合格證印ヲ臺紙ノ裏面ニ押捺シ特別用及普通用ノ臺紙ノ數並普通蠶種ノ産卵蛾奴ヲ種繭證明書ニ記載ス

第三十條第二項又ハ第三十一條第一項ノ規定ニ依リ普通蠶種ト爲スヘキ不越年蠶種ニハ様式第十號普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

蠶絲業法施行規則

不越年蠶種ノ特別用印、特別蠶種検査合格證印又ハ普通蠶種検査合格證印ハ産卵後ノ検査又ハ第二十八條第二項ノ検査ニ合格セサルトキハ現存セサル蠶種ニ付テハ之ヲ無効トシ現存セル蠶種ニ付テハ之ヲ取消シ其ノ蠶種ヲ不合格トス

第四十六條 不越年蠶種ニシテ産卵後ノ検査又ハ第二十八條第二項ノ検査ニ合格シタル出殻繭ニ對シテハ其ノ種繭證明書ニ様式第十二號出殻繭検査済印ヲ押捺ス

蠶種製造者不越年蠶種ノ製造ニ供用セサル繭紙アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル證印ノ取消ヲ受ケヘシ

第四十七條 蠶種製造者不越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ製造後遲滞ナク蠶種及母蛾ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

前項ノ蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ受ケムトスルトキ蠶種及出殻繭ニ付亦同シ但シ第三十三條但書ノ場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 産卵後ノ検査ニ合格セサル蠶種、第二十八條第二項ノ検査ニ合格セサル蠶種、第三十條第一項、第三十一條第一項及第四十五條第四項ノ規定ニ依ル不合格蠶種ニハ様式第十三號不合格

印ヲ其ノ繭紙ノ裏面ニ押捺ス

第四十九條 越年蠶種ニシテ産卵後ノ検査又ハ第三十條第一項ノ検査ニ合格シタルトキハ特別蠶種ニ在リテハ様式第十號特別用印ヲ、普通蠶種及第三十條第二項又ハ第三十一條第一項ノ規定ニ依リ普通蠶種トスヘキモノニ在リテハ様式第十一號普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

越年蠶種ノ産卵後ノ検査ニ合格シタル出殻繭ニ對シテハ其ノ種繭證明書ニ様式第十二號出殻繭検査済印ヲ押捺ス

第五十條 蠶種製造者越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ蠶種及母蛾ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第五十一條 母蛾ノ顯微鏡検査ニ於テ微粒子ヲ發見シタルトキハ様式第十四號有毒印ヲ、微粒子ヲ發見セサルトキハ様式第十五號無毒印ヲ其産卵シタル區ニ押捺シ其ノ有毒印ヲ押捺シタル區ハ之ヲ不合格トス

母蛾ノ亡失又ハ混亂シタル區ニハ様式第十六號缺蛾印ヲ押捺ス
有毒印又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區ハ之ヲ除去シタル後繭紙ノ裏面ニ様式第十七號特別蠶種検査済印ヲ押捺ス

蠶絲業法施行規則

格證印ヲ押捺ス

第五十二條 蠶種製造者前條第三項ノ規定ニ依リ除去セラレタル區又ハ自己ノ必要ニ依リ除去シタル區ニ無毒ノ印ヲ押捺セラレタル區ヲ填補セムトスルトキハ所轄蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ原蠶種以外ノ特別蠶種ニシテ母蛾検査前ニ於テ化性名稱ヲ記載シ無毒ノ印ヲ押捺セラレタル區ヲ以テ同一ノ種爾證明書ヲ有スル種爾ヨリ製造セラレタル蠶種ニ填補セムトスルトキハ蠶業取締所以外ノ場所ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

前項ニ依リ填補シタル區ニハ其ノ繼目ニ様式第十八號繼印ノ押捺ヲ受クヘシ

第五十三條 蠶種ヲ截斷シテ讓渡サントスル者ハ其ノ蠶紙ノ裏面ニ截斷スヘキ部分ヲ區劃シ各部ニ第二十三條ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ記載シ検査合格證印ノ押捺ナ、原蠶種ニ在リテハ尙原蠶種印ノ押捺ヲ受クヘシ

第五十四條 蠶種製造者特別蠶種ノ製造ニ供用シタル母蛾亡失又ハ混亂シタルトキハ其ノ蠶種ニ對シ

普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得

第五十五條 地方長官ハ特別蠶種ノ母蛾ニ高熱ヲ加ヘ又ハ故意若ハ過失ニ依リ蠶種検査ヲ困難ナラ

シメタルモノニハ母蛾ノ検査ヲ拒ムコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知スヘシ蠶種製造者ハ前項ノ規定ニ依リ母蛾ノ検査ヲ受クルコトヲ得サル蠶種ニ對シ普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 蠶絲業法第十五條又ハ本則第三十條第二項、第三十一條第一項、第四十五條第四項及第四十六條第二項ノ規定ニ依リ證印ヲ取消サムトスルトキ又ハ第五十四條若ハ前條第二項ノ規定ニ依リ普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求シタル爲メ特別用印ノ必要ナキトキハ其ノ證印ノ上ニ様式第十九號消印ナ、第三十一條第二項ノ規定ニ依リ無毒印ヲ取消サムトスルトキハ其ノ證印ノ上ニ様式第二十號消印ヲ押捺ス

第五十七條 第二十條、第二十一條及第三十八條ノ規定ハ蠶種製造者カ蠶種ノ製造ニ供用セサル蠶兒ヲ飼育スル場合ニ於テ其ノ蠶兒及爾ニ之ヲ適用セス

第五十八條 自家用ノ蠶種ヲ製造シ其ノ蠶兒ヲ飼育シ得ヘキ地方ハ農商務大臣之ヲ指定ス前項指定地域内ニ於テ自家用蠶種ヲ製造シ其ノ蠶兒ヲ飼育セムトスル者ハ蠶絲業法第十六條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

蠶絲業法施行規則

第五十九條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造セムトスル者ハ其ノ旨ヲ毎年蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲シタル者届出事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ本人ヨリ本人死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第六十條 自家用蠶種ニハ框製ニ在リテハ蠶紙ノ表面ニ普通製ニ在リテハ蠶紙ノ裏面ニ化性、名稱自家用ノ文字及製造者ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

第六十一條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造シタル者ハ化性、化期、名稱及框製、普通製ノ別ニ依リ其ノ製造額ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第六十二條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニハ蠶絲業法第八條第一號乃至第五號ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 地方長官必要ト認ムルトキハ自家用ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニ對シ蠶絲業法及本則ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第六十四條 農會、蠶絲業ニ關スル組合其他ノ團體ハ蠶絲業法同一ノ目的ヲ以テ検査合格ノ證印アル蠶種ヲ検査スルコトヲ得ス但シ蠶絲業ニ關スル同業組合ニシテ組合員ノ製造シタルモノニ限

リ希望ニ依リ普通蠶種又ハ自家用蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ蠶種ノ蠶紙ニ病毒歩合ヲ記載スルノ外合否ノ決定ヲ爲シ又ハ殺卵若ハ燒棄ヲ爲スコトヲ得ス

第六十五條 學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲サムトスル者ハ農商務大臣ノ許可ヲ受ヘシ

學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ蠶絲業法第四條第一項ノ適用ヲ免レムトスル者前項ニ同シ

第六十六條 前條第一項及第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所又ハ所在地

二 研究ノ目的

三 研究ノ期間

四 研究ノ方法

蠶絲業法施行規則

五 研究ニ從事スル者及之ヲ主管スル者ノ氏名並履歴ノ要領

前條第二項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ尙其ノ適用ヲ免レムトスル範圍ヲ記載スヘシ

前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル學校、講習所、試驗場等ハ其ノ校長、所長、場長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ以テ主管者トシ直接執務ノ任ニ當ル職員ヲ研究ニ從事スル者ト看做ス

第六十七條 學術研究ノ爲蠶種ノ移入又ハ輸入ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ都度前條第一項ノ各號

ニ掲クル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ第六十五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル許可ト同時ニ若ハ其ノ後ニ此ノ許可ヲ受ケムトスル場合ニシテ前條第一項ノ各號ニ掲ケタル事項同一ナルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載スルヲ以テ足ル

一 移入又ハ輸入スヘキ蠶種ノ製造地及名稱

二 移入又ハ輸入スヘキ蠶種ノ數量

農商務大臣ハ前項第二號ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第六十八條 國、道府縣、都市其ノ他ノ團體ニ於テ設置シタル學校、講習所又ハ試驗場等ニシテ蠶絲

業ニ關スル學識經驗アル專任職員三人以上ヲ有シ蠶量十五匁以上ヲ飼育スルニ適當ナル養室器具

其ノ他ノ設備ヲ有スルトキハ第六十五條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ得テ製造シタル蠶種ヲ農商務

大臣ノ許可ヲ受ケ配付スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケ配付スヘキ蠶種ノ數量ハ農商務大臣之ヲ制限スルコトヲ得

第六十九條 前條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ

添付シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 養室、器具、桑園其ノ他ノ設備

二 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規定

三 蠶種ノ配付豫定額

四 蠶種ヲ配付セムトスル期間

五 養蠶及製絲製造ニ關スル職員ノ氏名及履歴ノ要領

第七十條 第六十六條第一項及前條ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農商務大

臣ニ届出ツヘシ

蠶絲業法施行規則

第六十五條第一項第二項又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル者中途學術ノ研究又ハ蠶種ノ配付ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第七十一條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ第六十五條第一項第二項又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七十二條 道府縣ニ於テ蠶種ノ製造ヲ爲サムトスルトキハ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シ若ハ廢止シタルトキ亦同シ

一 製造場所ノ名稱及所在地

二 蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備

三 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規定

四 蠶種ノ製造ニ從事スヘキ技術者ノ氏名及履歷ノ要領

第七十三條 第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ハ配付蠶種ノ産紙ニ様式第二十一號ノ證印ヲ、道府縣ハ其ノ配付蠶種ノ産紙ニ様式第二十二號ノ證印ヲ押捺シ其ノ製造及検査ノ方法ハ本則中特別蠶種ニ關スル規定ニ準スヘシ

前項ノ蠶種ハ蠶絲業法第十二條ニ依リ特別蠶種ト指定シタルモノト看做ス

第七十四條 原蠶種ヲ製造セムトスル蠶種製造者ハ其種蠶ニ對シ地方種蠶審査會ノ審査ヲ受クルコトヲ得

第七十五條 前條ノ審査ヲ受ケムトスル蠶種製造者ハ種蠶審査請求書ヲ地方長官ニ、其ノ種蠶ハ之ヲ種蠶證明書ヲ添付シ地方長官ノ指定シタル場所ニ差出スヘシ

第七十六條 地方長官ハ當該官吏吏員ヲシテ收購後ノ検査ノ場合ニ於テ地方種蠶審査會ノ審査ヲ受ケムトスル種蠶ノ全部又ハ一部ニ封緘ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十七條 蠶種製造者ハ種蠶證明書ナキ種蠶ニ付第七十四條ノ審査ヲ請求スルコトヲ得ス
蠶種製造者ハ自己ノ生産セサル種蠶ヲ以テ原蠶種印ノ押捺ヲ受ケヘキ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス但シ郡市、郡市以上ヲ地域トスル農會又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 地方種蠶審査會ノ審査ニ合格シタル種蠶ノ種蠶證明書ニハ様式第二十三號種蠶審査合格證印ヲ押捺ス

第七十九條 地方種蠶審査會ノ審査ニ合格シタル種蠶ヲ以テ製造シタル特別蠶種ノ母蠶検査ヲ請求スル蠶絲業法施行規則

ル爲第四十七條第一項又ハ第五十條ノ規定ニ依リ蠶種及母蛾ヲ蠶業取締所ニ差出サントスル者ハ之ニ其ノ蠶種ノ製造ニ供用シタル種繭ノ種繭證明書ヲ添付スヘシ

第八十條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ヲ以テ製造シタル特別蠶種ニハ第五十一條第三項ノ處分ヲ爲シタル後様式第二十四號原蠶種印ヲ押捺ス

道府縣ハ其ノ製造シタル原蠶種ニ様式第二十五號原蠶種印ヲ押捺スヘシ

第八十一條 蠶種製造者原蠶種印アル蠶種ヲ蠶種製造者以外ノ者ニ讓渡サムトスルトキハ蠶業取締所ニ於テ原蠶種印ノ取消ヲ受クヘシ但シ道府縣ノ製造ニ係ルモノハ道府縣之ヲ取消スヘシ

前項ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ原蠶種印ノ上ニ様式第十九號消印ヲ押捺スヘシ

第八十二條 道府縣ニハ本則中第五條、第六條、第七條、第十條、第十七條、第十九條第二項、第七十五條及第七十七條ノ規定ヲ適用セス

第八十三條 蠶絲業法第二十一條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シテ冷蔵ノ場所在地ヲ管轄スル地方長官ニ差出スヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所

二 管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名、住所及履歷ノ要領

三 冷蔵ノ場所在地及名稱ヲ附シタルトキハ其ノ名稱

四 風穴、氷室又ハ冷蔵裝置ノ構造並其ノ圖面

五 冷蔵シ得ヘキ場所ノ容積及蠶種ノ數量

六 冷蔵ノ始期及終期ノ豫定日

七 前期ノ冷蔵期間ニ於ケル溫度及濕度

地方長官蠶種冷蔵業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ様式第二十六號ノ免許證ヲ下付スヘシ

第八十四條 前條ノ免許ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、中途廢業シ又ハ免許願書ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ本人ヨリ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項死亡ノ場合ニ於テ其ノ相續人被相續人ノ業務ヲ承繼セムトスルトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第八十五條 蠶種冷蔵業者ハ蠶種ノ一時保管又ハ其ノ取扱ヲ爲ス場所ヲ設ケルコトヲ要ス

前項ノ場所ニハ火氣有毒瓦斯其ノ他蠶種ニ危害ヲ及ボスヘキ虞アル狀況ヲ防止スヘシ

第八十六條 蠶種冷蔵業者ハ其ノ冷室ニ左記各號ニ該當スル施設ヲ爲スコトヲ要ス

蠶絲業法施行規則

- 一 正確ナル寒暖計及檢漏計ヲ備フルコト
 - 二 蠶種ノ容器ヲ配置スル爲内部ニ棚ヲ設ケルコト
 - 三 蠶種ヲ收容スヘキ室ハ亜鉛板等ニテ張ルカ又ハ蠶種ノ容器ヲ亞鉛板及木材ヲ用井タルニ重層トシ密閉シ得ル構造ト爲スコト
 - 四 容器ニ蠶種ヲ藏ムルニハ蠶種一枚ニ付特別蠶種ニ在リテハ一厘以上、普通蠶種ニ在リテハ四厘以上ノ間隔ヲ保タシムルコト
 - 五 蠶種ニ危害ヲ及ホスヘキ物ヲ同時ニ貯藏セサルコト
- 第八十七條 蠶種ノ冷藏ニ供用スヘキ冷室内ハ其ノ冷藏期間溫度ハ華氏三十二度以上四十度以下濕度ハ七十度以上九十八度以下ナルコトヲ要ス
- 地方長官ハ越年蠶種ニ在リテハ冷藏ノ始期又ハ終期ニ依リ、不越年蠶種ニ在リテハ冷藏期間ノ長短ニ依リ前項ノ溫度又ハ濕度ヲ變更スルコトヲ得
- 第八十八條 蠶種冷藏業者ハ冷藏期間風穴又ハ氷室ヲ用井ルトキハ三日毎ニ其ノ溫度ヲ、其ノ他ノ冷藏裝置ヲ用井ルトキハ毎日其ノ最高最低溫度ヲ冷室ノ内氣外氣ニ分チ觀測シ毎年之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

- 地方長官ハ特別ノ事情アル者ニ對シ前項ノ觀測期日ニ據ラシメサルコトヲ得
- 第八十九條 死籠繭ヲ除ク外化蛹セサル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ス但シ其ノ生繭ヲ搬出セシメサル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第九十條 蠶種ノ行商ヲ爲ガムトスル者又ハ營業者ニシテ店舗以外ノ場所ニ於テ生繭ノ賣買ヲ爲サムトスル者ハ様式第二十七號ノ鑑札ヲ携帯スヘシ雇人其ノ他ノ從業者ヲシテ之ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各從業者ニ様式第二十八號ノ鑑札ヲ携帯セシムヘシ
- 第九十一條 前條ノ規定ニ依ル鑑札ノ下付ハ住所地ノ地方長官ニ出願スヘシ
- 第九十二條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ルヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第九十三條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物產同業組合法施行規則第三條乃至第十條ノ規定ヲ準用シ同規則第十二條ノ規定ヲ適用セス但シ發起人ハ之ヲ組織スヘキ同業組合ノ代表者タルコトヲ要ス
- 蠶絲業法施行規則

前項ノ發起人ノ數ハ五名以上タルコトヲ要セス

蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ定款ニハ地區及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第九十四條 蠶絲業同業組合中央會設置ノ發起人ハ之ヲ組織スヘキ同業組合聯合會及同業組合ノ代表者ニシテ其ノ數ハ十名以上タルコトヲ要ス

第九十五條 蠶絲業法第三十三條ニ依ル議員ノ定數、配當及其ノ選出方法ハ農商務大臣之ヲ告示ス

第九十六條 蠶絲業同業組合中央會ノ議員ヲ選舉セムトスルトキハ之ト同時ニ同數ノ補缺議員ヲ選舉スヘシ

第九十七條 蠶絲業同業組合中央會議員、其ノ補缺議員及特別議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三年トス但シ議員缺員ノ場合ニ於テ補缺議員ヲ以テ補充シタルトキハ其ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

特別議員ノ任期ハ農商務大臣之ヲ伸縮スルコトヲ得

第九十八條 蠶絲業同業組合中央會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

會長 一名

副會長 二名

評議員 若干名

第九十九條 會長、副會長ハ議員及特別議員中ヨリ議員及特別議員ニ於テ之ヲ選舉シ評議員ハ議員中ヨリ其ノ三分ノ二特別議員中ヨリ其ノ三分ノ一ヲ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一百條 會長ハ會務ヲ總理シ會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

副會長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ及會務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

評議員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第一百一條 蠶絲業同業組合中央會ノ事務權限ハ左ノ如シ

一 蠶絲業上ノ弊害ヲ矯正シ且蠶絲業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調査スルコト

二 蠶絲業ニ關スル法規ノ制定改廢施行ニ關シ意見ヲ表示スルコト

三 蠶絲業ニ關スル事項ニ付農商務大臣ノ諮問ニ應スルコト

四 内外蠶絲業ノ狀況及統計ヲ調査發表スルコト

蠶絲業法施行規則

五 其ノ他蠶絲業ノ改良發達上特ニ必要ナル事項ヲ行フコト

第二百二條 重要物産同業組合法施行規則第四條乃至第十一條、第十三條乃至第十九條及第二十一條乃至第二十四條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第十條、第十四條及第二十一條乃至第二十四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ地方長官ハ之ヲ農商務大臣トス

第二百三條 蠶絲業法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ收去セムトスルトキハ當該蠶種又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者、其ノ從業者、同居者若ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施行シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名若ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏員及立會人ニ署名捺印スヘシ立會人署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第二百四條 地方長官當該官吏吏員ヲシテ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サシメムトスルトキハ其ノ爲分ヲ證明スル爲様式第二十九號ニ依ル證票ヲ携帯セシムヘシ

第二百五條 臨檢、搜索及差押ニ關シテ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百六條 蠶種ノ製造ヲ爲シタル道府縣又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所、試驗場等ハ毎年一月三十一日迄ニ様式第三十號ニ依リ前年ノ成績表ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二百七條 地方長官ハ毎年五月十五日迄ニ前年度ノ蠶病豫防事務成績及蠶種冷蔵業取締成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二百八條 地方長官蠶絲業法及本則施行ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二百九條 道府縣ハ蠶絲業法第二十二條及府縣制第七十五條ノ規定ニ依リ蠶業取締吏員及蠶種検査吏員ヲ置クヘシ

第二百十條 本則ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ蠶絲業同業組合中央會ヨリ差出スヘキモノヲ除キ地方長官ヲ經由スヘシ

第二百十一條 第七條第一項第二項、第十七條、第二十二條、第二十四條第一項、第三十七條、第三十八條、第四十六條第二項、第五十二條第二項、第五十九條第一項、第六十條、第六十四條、第六十七條第二項、第八十一條第一項、第八十九條又ハ第九十條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第四十六條蠶絲業法施行規則

條第二項ノ規定ニ依ル消印ナキモノヲ他人ニ讓渡シ若ハ情ヲ知リテ讓受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第十條、第六十一條、第八十八條第一項、第二十三條第三項ニ依ル不越年普通蠶種ニ關スル規定ニ違反シタル者又ハ第八條、第五十九條第二項、第七十條第一項又ハ第八十四條第一項ニ依リ願書、申請書又ハ届書記載事項ノ變更ノ届出ヲ忘リタル者ハ科料ニ處ス

附 則

第百十二條 本則ハ明治四十四年法律第四十七號蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年農商務省令第七號蠶病豫防法施行規則ハ之ヲ廢止ス

第百十三條 本則施行前蠶病豫防法施行規則第十條ニ依リ爲シタル消毒ハ本則ニ規定スル方法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第百十四條 蠶種ノ蠶紙ニ記載スヘキ文字記載ノ方法ハ明治四十六年十二月三十一日迄様式第四號又ハ第五號ニ依ラサルコトヲ得

普通蠶種ノ製造ニ供用スヘキ蠶紙ノ寸法ハ明治四十六年十二月三十一日迄第二十五條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第百十五條 蠶絲業法第四十八條ニ依リ指定スル地域左ノ如シ

銅路國、根室國、北見、禮文郡及千嶋

第百十六條 蠶病豫防事務所カ検査ノ爲受取シタル原種ニシテ本則施行前其ノ検査ヲ終了セサルモノニ付テハ本則施行後ト雖モ尙蠶病豫防法ノ規定ニ依リ之カ處分ヲ爲スヘシ

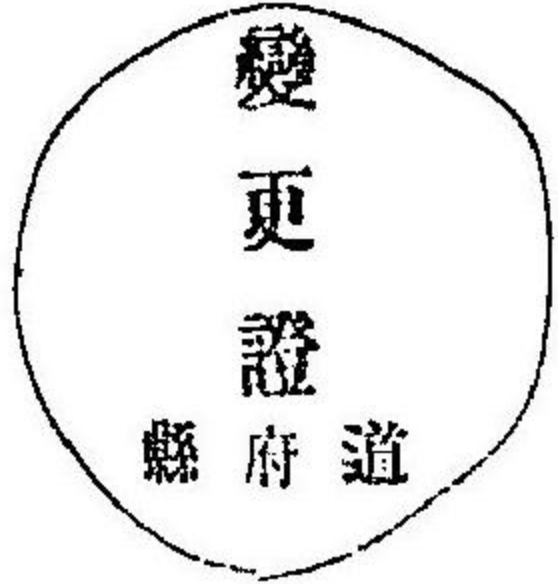
前項ノ規定ニ依リ検査シタル原種ハ蠶病豫防法ニ依リ検査シタルモノト看做ス

第 一 號	蠶種製造免許證	住所氏名(名稱)	蠶絲業法第五條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス	年月日	道府縣
紙	縱六寸	横八寸			
第 二 號	業 種 住 所	蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所	木札 縦一尺五寸以上横四寸以上厚四分以上	紙	縱四寸
第 三 號	飼育又ハ製造場所	蠶種製造者 氏名(名稱)	蠶病消毒濟證	蠶業取 締所印	年月日
紙	縱四寸	横二寸			

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

第六號



圓形
直徑五分
肉色朱

第七號

種繭證明書

第 號(記號)

蠶種製造者 住所 氏名(名稱) 飼育ノ場所

一 原蠶種ノ製造場所
二 原蠶種ノ時期
三 名稱
四 種繭ノ量
五 一升ノ顆數
六 發蛾ノ歩合

右種繭検査ニ合格シタルコトヲ證ス

年月日

道府縣蠶業取締所印

蠶業取締官 吏(吏員)印

紙四寸 縦六寸 横六寸
種繭移動ノ場合ニ於テハ其ノ種繭ヲ生産シタル者ノ住所(氏名)ノ記載及此ノ様式以外ノ事項ハ其ノ裏面ヲ用井月日ヲ記シ蠶業取締官(吏員)之ニ押捺スヘシ

四七

第五號

普通種
蠶種
ノノ
裏面紙

性化
(藏冷)
別越越
年 年
ノ不

稱名

住所
氏名(名稱)
製造場所

産卵
蛾數

産卵
月 日

第四號

特別種
蠶種
ノノ
表裏紙

(以上分五)

性化
(藏冷)
別越越
年 年
ノ不

稱名

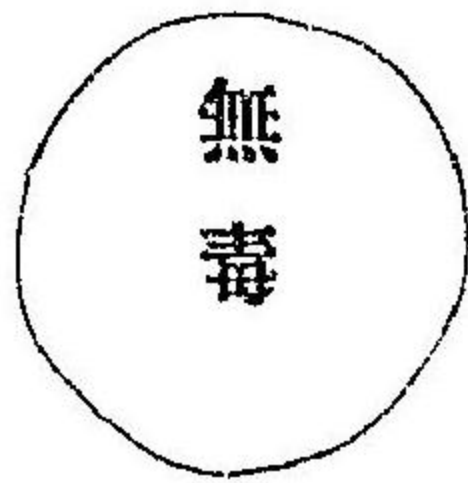
住所
氏名(名稱)
製造場所

産卵
記號
番號
月 日

四六

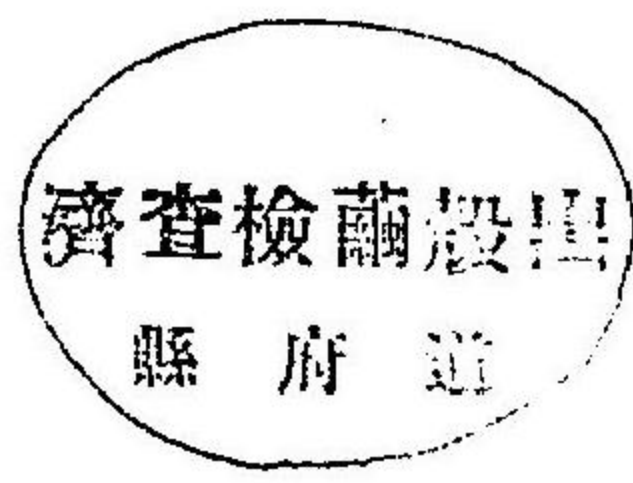
蠶絲業法施行規則

第十五號



圓形
直徑二分
五厘
肉色朱

第十二號



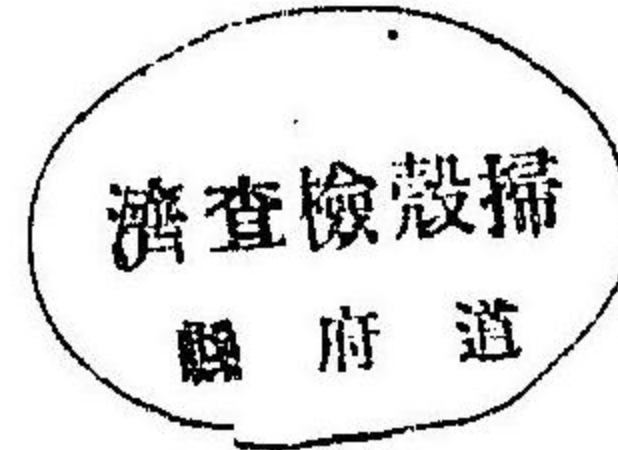
橢圓形
長徑一寸
短徑六分
肉色黑

第十號



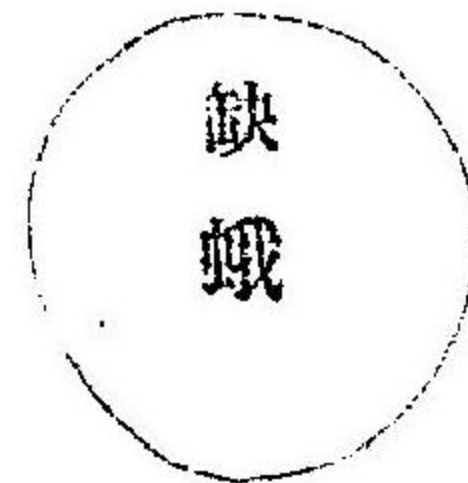
圓形
直徑七分
肉色朱

第八號



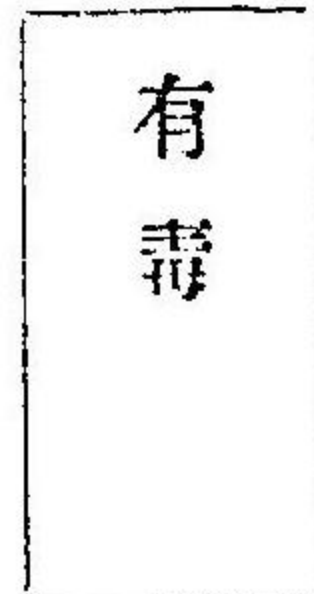
橢圓形
長徑一寸
短徑六分
肉色黑

第十六號



圓形
直徑二分
五厘
肉色青

第十四號



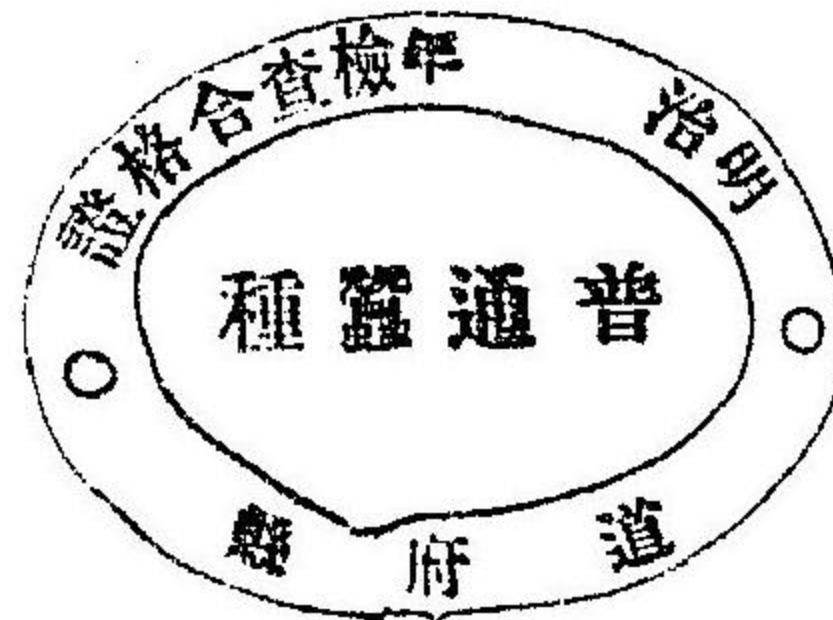
長方形
縱三分
橫二分
肉色黑

第十三號



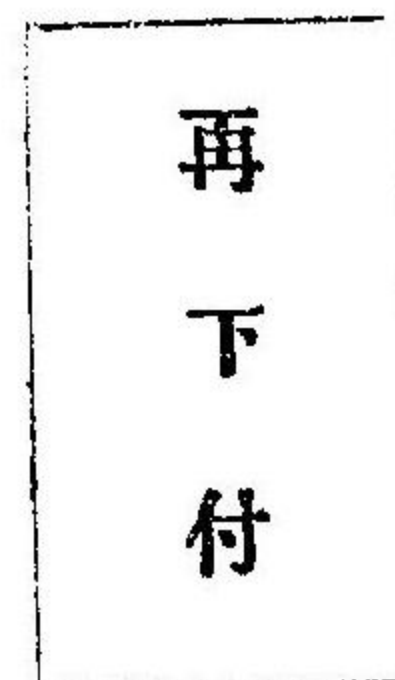
長方形
縱一寸
橫五分
肉色黑

第十一號



橢圓形
長徑一寸
五分
短徑一寸
肉色朱

第九號



長方形
縱一寸二分
橫五分
肉色朱

蠶絲業法施行規則

第廿四號



圓形 直徑一寸
肉色青
五分
外線ノ二
線中ノ外
ナ太クシ
内線ヲ細
クス

第廿二號



圓形 直徑一寸
肉色朱
五分

第廿五號



圓形 直徑一寸
肉色青
五分
外線ノ二
線中ノ外
ナ太クシ
内線ヲ細
クス

第廿三號



橢圓形 長徑一寸
短徑五分
肉色朱
外線ヲ太
クシ内線
ヲ細クス

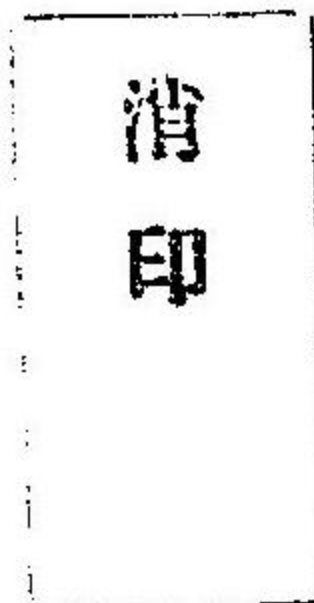
五一

第十七號



圓形 直徑一寸
肉色朱
五分

第十九號



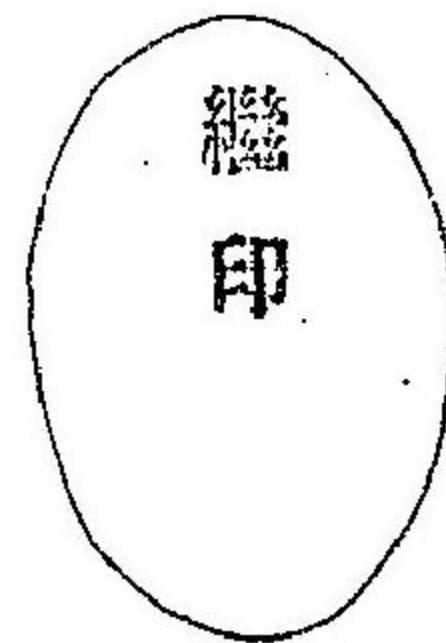
長方形 縱一寸
橫五分
肉色黑

第二十號



圓形 直徑二分
肉色黑

第十八號



橢圓形 長徑三分
短徑二分
肉色朱

第廿一號



圓形 直徑一寸
肉色朱

五〇

第廿八號 裏面 表

第 號 道府 縣印 住 所 業種 右從業者 氏名 生年月日	厚紙 縱三寸 橫二寸	蠶種行商者(生繭)賣買者(從業者)之證 年 月 日
--	------------------	------------------------------

第廿九號 裏面 表

官職 氏名	厚紙 縱三寸 橫一寸八分	第 號 蠶業取締官吏(吏員)證票 年 月 日 道府 縣印
----------	--------------------	--

第廿六號

第 號 住 所 氏名(名稱) 蠶絲業法第二十一條 依蠶種冷藏業ヲ 免許ス 年 月 日 道府縣印	紙 縱六寸 橫八寸	蠶種冷藏免許證
--	-----------------	---------

第廿七號 裏面 表

第 號 道府 縣印 住 所 業種 氏名 生年月日	厚紙 縱三寸 橫二寸	蠶種行商者(生繭)賣買者(繭)之證 年 月 日
--	------------------	----------------------------

二、石灰水ヲ用井ル場合ニ在リテハ生石灰一分ニ水九分以内ヲ加ヘタルモノニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スベシ

三、熱湯ヲ用井ル場合ニアリテハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ若クハ五分間以上煮沸ヲ繼續スベシ

四、乾燥ヲ行フ場合ニ在リテハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸氣熱ヲ用井生菌百多ヲ四十多以内ニ至ラシムベシ

第三條 蠶絲業法施行規則第十三條ノ蠶病ノ蔓延ノ虞アル場合トハ病勢猖獗ニシテ蠶兒ノ過半病蠶トナリタル場合ヲ謂フ

第四條 蠶絲業法施行規則第十四條第二項ノ蠶蛆及其蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルベキ容器トハ密閉シ得ベキモノ又ハ密閉セサル箱籠等ニシテ深サ二寸以上ヲ有スルモノヲ謂フ但シ密閉セサル容器ノ縁ニ繭ノ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ヲ保タシムベシ

蠶絲業法施行規則第十四條第四項ノ塵芥ノ處理方法ハ之ヲ燒棄シ又ハ容器ニ滿タシタル水液中ニ百二十時間以上浸漬スベシ

第五條 蠶絲業法施行規則第十八條ニ依ル蛾ノ乾燥ハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸氣熱ニ三時間以

上之ヲ接觸セシムベシ

蛾ヲ熱湯「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入セントスルトキハ第二條第一號乃至第三號ニ準スベシ

第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室蠶具ノ消毒方法左ノ如シ

一、「フオルマリン」撒布消毒法

一、蠶室ヲ消毒スルニハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲メ其ノ周圍ヲ密閉シ消毒中華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保タシムベシ蠶室ノ内面百平方尺ニ對シ「フオルマリン」稀釋液(百分中蟻酸「アルデヒド」一分以上ヲ含有スルモノ)四百二十粒(二合三勺一オ)ヲ撒布スベシ但シ充分ニ密閉シ難キ室撒布面ノ粗糲ナル室又ハ室内溫度ヲ七十五度ニ達セシメ難キ場合ニ於テハ「フオルマリン」撒布ノ量ヲ適宜増量スベシ「フオルマリン」ヲ撒布スルニハ噴霧器ヲ用井天井ヨリ周圍ニ及ボシ最後床板ニ至リ撒布後尙十五時間以上之ヲ密閉スルヲ要ス

二、蠶具ヲ消毒スルニハ華氏七十五度以上ノ室内ニ於テ之ヲ行フベシ「フオルマリン」稀釋液(百分中蟻酸「アルデヒド」一分以上ヲ含有スルモノ)ヲ蠶具ニ撒布スルニハ蠶網蠶筵及蠶

蠶病豫防心得

箱ノ類ニ在リテハ一枚毎ニ蠶架ノ類ニアリテハ一箇毎ニ表裏全面ノ潤フ程度ニ之ヲ撒布シ
順次堆積シテ相當ノ高サニ至ラバ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲メ菰藁ヲ以テ周圍ヲ覆ヒ十五時間以
上之ヲ放置スベシ

二、蒸氣消毒法

桶箱等ニ蠶具ヲ容レ之レニ蒸氣ヲ通シ華氏二百十二度ニ達シタル後尙三十分間以上同溫度ヲ
保タシムベシ

三、蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒法

蠶具ノ消毒ハ完全ニ密閉シ得ベキ華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保テル室内ニ於テ之ヲ行フベシ
蠶具ヲ配置スルニハ間隔ヲ保タシムベシ但シ蠶籠ニアリテハ皆川籠ハ一枚ヲ以テ限度トシ堆積
スルコトヲ得厚籠一枚又ハ蠶網五枚ハ皆川籠二枚ニ相當スルモノト看做ス消毒室ノ内面千立
方尺ニ對シ「フォルマリン」蒸發器又ハ其他ノ器具ヲ以テ蟻酸「アルデヒド」瓦斯ヲ左ノ割合
ニ依テ發散セシメ發散後尙六時間以上之ヲ密閉スベシ

蠶箔及蠶籠(皆川籠)

蟻酸「アルデヒド」瓦斯量

百枚以下	一一五瓦
二百枚以下	一三〇
三百枚以下	一四五
四百枚以下	一六〇
五百枚以下	一八〇
六百枚以下	一九〇
七百枚以下	二〇〇
八百枚以下	二二〇

蠶絲業法施行手續

(明治四十四年十二月二十八日
新潟縣令第七十六號)

第一條 蠶業取締所、其ノ支所及出張所ノ名稱、位置、管轄區域及其ノ開閉期日ハ告示ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 蠶絲業法施行規則第二條ノ允許願書ヲ差出サルトスル者ハ一月三十一日迄ニ様式第一號ニ依
リ之ヲ知事ニ差出スベシ

蠶絲業法施行手續

第三條 蠶絲業法施行規則第五條ノ届書ハ毎年三月十五日迄ニ様式第二號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第四條 蠶絲業法施行規則第七條ノ届書ハ様式第三號ニ依リ生繭取扱ノ場所ヲ豫定シ得ヘキモノニ在リテハ毎年四月十五日迄ニ、之ヲ豫定シ得ヘカラサルモノニアリテハ生繭取扱開始三日前迄ニ之ヲ知事ニ差出スベシ

第五條 蠶絲業法施行規則第九條ノ許可願書ハ相續人及被相續人連署ノ上戸籍謄本ヲ添付シテ之ヲ知事ニ差出スベシ

第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室及器具ノ消毒ハ蠶業取締所ヨリ告知シタル期日ニ於テ被相續人死亡ノ場合ニ於テハ相續人前項ノ手續ヲ爲スベシ

第七條 蠶絲業法施行規則第二十條ノ届書ハ様式第五號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スベシ

第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ノ化性、名稱、製造者、製造場所又ハ其ノ原蠶種ヨリ産出シタル蠶兒ノ掃立時期飼育場所ノ異ナルモ毎ニ平假名ニ依ル記號ヲ付シ之ヲ前條ノ届書中ニ記載スベシ

第九條 蠶絲業法施行規則第二十一條第一項ノ蠶兒讓渡許可申請書ハ様式第六號ニ依ルベシ

第十條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第二十四條第一項但書ニ依リ蠶種ノ寢紙ニ記載シタル文字ノ訂正増加又ハ抹消ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ蠶種ヲ當該官吏吏員ニ、許可ヲ受ケムトスルトキハ様式第八號寢紙記載事項變更許可願ニ其ノ蠶種ヲ添付シ之ヲ知事ニ差出スベシ

第十一條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ上簇終リタルトキハ其ノ都度様式第九號上簇届ヲ遲滞ナク所轄蠶業取締所ニ差出スベシ

第十二條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇后一化性ニ在リテハ十日以内ニ二化性及多化性ニ在リテハ八日以内ニ繭ヲ撰別シ様式第十號收繭調査ニ通テ調製シ其ノ一通ヲ所轄蠶業取締所ニ差出シ他ノ一通ヲ保管スベシ

第十三條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第十四條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第十五條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第十六條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第十七條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第十八條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第十九條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第二十條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第二十一條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

第二十二條 蠶種製造者ハ越年普通蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ蠶繭ヲ差出ス前其蠶紙ノ裏面ニ記號ヲ記載スベシ

蠶種ニ附スベキ記號ハ其ノ蠶種ノ製造ニ供用シタル繭ニ對スル種繭證明書ノ記號ヲ用非特別蠶種ノ母蛾及其ノ常明區ニ附スベキ符號ハ數字ヲ用ユベシ

特別蠶種ノ母蛾ハ蠶業取締所ノ承認ヲ得タル容器ニ容レ之ニ其ノ蠶種ノ壺紙ト同一ノ記號、番號、化性、名稱及製造者ノ氏名若ハ名稱、住所ヲ記載スベシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十九條及第三十一條ニ依ル卵ノ顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

蠶種製造者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期日迄ニ其ノ蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スベシ
第十五條 不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭トノ對照検査ハ蠶種製造場所ニ於テ之ヲ行フ

第十六條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依ル許可ヲ得ムトスルトキハ様式第十一號搬出許可願ヲ知事ニ差出スベシ

前項ノ出願ヲ許可シタルトキハ様式第十二號搬出許可證ヲ交付ス

第十七條 蠶種製造者化性又ハ名稱ノ異ナル蠶蛾ヲ以テ掛合蠶種ヲ製造セムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可願書ハ様式第十三號ニ依ルベシ

第十八條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第四十一條第一項ニ依リ蠶種ノ壺紙ニ記載スヘキ化性又ハ名稱ヲ變更セムトスルトキハ其ノ蠶兒ノ第四眠以前ニ様式第十四號蠶種化性(名稱)變更願ヲ知事ニ差出スベシ

前項ノ出願ヲ許可シタルトキハ様式第十五號許可證ヲ交付ス

第十九條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第四十三條第一項及第四十四條第一項ニ依リ種繭證明書ノ再下付又ハ書換下付ヲ請求セムトスルトキハ様式第十六號種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)請求書ヲ差出スベシ

第二十條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ニ依リ不越年蠶種ノ壺紙ニ證明ノ押捺ヲ請求セムトスルトキハ様式第十七號不越年蠶種壺紙捺印請求書ニ壺紙及種繭證明書ヲ添付シ之ヲ差出スベシ

第二十一條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第四十六條第二項ニ依ル證明ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ蠶種製造後直ニ其ノ壺紙ノ數ヲ記載シタル請求書ニ證明ノ取消ヲ受クヘキ壺紙ヲ添へ所轄蠶業蠶絲業法施行手續

取締所ニ差出スベシ

第二十二條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第四十七條第一項ニ依ル検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十八號不越年特別蠶種母蛾検査請求書ニ蠶種及母蛾ヲ添付シ之ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スベシ
不越年蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十九號不越年蠶種産卵後検査請求書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スベシ

第二十三條 蠶種製造者越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十八號越年特別蠶種母蛾検査請求書ニ蠶種及母蛾ヲ添付シ毎年十一月三十日迄ニ所轄蠶業取締所ニ差出スベシ
越年蠶種ノ産卵後検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十九號越年蠶種産卵後検査請求書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出ナヘシ

第二十四條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第五十四條及第五十五條第二項ニ依リ證明ノ押捺ヲ請求セムトスルトキハ様式第二十號蠶種別變更請求書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スベシ
第二十五條 蠶業取締所ニ於テ行ノヘキ検査終了シタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス
前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遅滞ナク蠶種ノ返戻ヲ受クヘシ

第二十六條 蠶絲業法施行規則第四十五條第四項ニ依リ合格證明ノ無効ニ屬シタル蠶種ハ官報又ハ公報ヲ以テ之ヲ公示ス

第二十七條 蠶種製造場所ニ於テ受クヘキ検査ニハ蠶種製造者又ハ其ノ代理人之ニ立會フベシ
第二十八條 蠶絲業法施行規則第七十五條ノ種繭審査請求書ハ様式第二十一號ニ依リ收繭後ノ検査ヲ了リタル後遅滞ナク之ヲ知事ニ差出スベシ
第二十九條 審査ヲ受ケムトスル種繭ヲ差出スヘキ場所及期日ハ之ヲ告示ス

前項ノ場所及期日ニ差出サレル者ハ審査ノ請求ヲ抛棄シタルモノト看做ス
第三十條 種繭ノ審査ヲ終リタルトキハ地方種繭審査會ハ之ヲ蠶種製造者ニ通知ス
前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遅滞ナク種繭ヲ差出シタル場所ニ付種繭ノ返戻ヲ受クヘシ

第三十一條 蠶絲業法施行規則第八十一條ニ依リ原蠶種印ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ様式第二十二號原蠶種印取消請求書ニ原蠶種ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スベシ
第三十二條 蠶絲業法施行規則第八十三條ノ免許願書ヲ差出サムトスル者ハ様式第二十三號ニ依リ之ヲ蠶絲業法施行手續

ヲ知事ニ差出スヘシ

第三十三條 蠶種冷蔵業者ハ越年蠶種ニ在リテハ冷蔵ノ始期二箇月間ノ最低溫度ヲ華氏二十五度其ノ終期二箇月間ノ最高溫度ヲ四十五度又ハ一箇月間ノ最高溫度ヲ五十度トシ不越年蠶種ニ在リテハ冷蔵期間十日以内ノ場合ニハ最高溫度ヲ華氏五十度トシ十五日以内ノ場合ニハ之ヲ四十五度トスルコトヲ得

第三十四條 蠶種冷蔵業者ハ蠶種冷蔵成績及蠶絲業法施行規則第八十八條第一項ノ届書ヲ様式第二十四號ニ依リ毎年十月三十一日迄ニ知事ニ差出スヘシ

第三十五條 蠶絲業法施行規則第九十一條ニ依リ鑑札ノ下付ヲ出願セムトスル者ハ様式第二十五號鑑札下付願ヲ知事ニ差出スヘシ

前項ニ依リ下付ヲ受ケタル鑑札ハ贋種行商者又ハ生齒賣買者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ業務ヲ廢止シタルトキハ本人ヨリ之ヲ所轄蠶業取締所ニ返納スヘシ但シ從業者ノ鑑札不用ニ歸シタルトキハ雇主ヨリ之ヲ返納スヘシ

第三十六條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者又ハ蠶種冷蔵業者ニシテ死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、

業務ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ本人ヨリ遲滞ナク免許證ヲ返納スヘシ

蠶種製造者又ハ蠶種冷蔵業者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼シタルトキハ免許證ノ書換ヲ請求スヘシ

第三十七條 免許證又ハ鑑札ヲ毀損シ若クハ亡失シタルトキハ所轄蠶業取締所ニ其ノ再下付ヲ請求スヘシ但シ其ノ毀損シタル場合ニハ其ノ免許證又ハ鑑札ハ之ヲ返納スヘシ

第三十八條 蠶業取締官吏員ノ官職及蠶業取締所及支所印ハ様式第十六號ニ依ル

第三十九條 毎年九月以後ニ於テ生齒ノ取扱ヲ爲ス者ハ蠶絲業法施行規則第七條、第十四條及第十五條ノ規定ヲ適用セス

第四十條 第十一條、第十二條、第十四條第二項、第十七條第一項、第二十七條、第三十五條第二項又ハ第三十六條第一項ニ違反シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條 本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄蠶業取締所ヲ經由スヘシ

附 則

第四十二條 本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蠶絲業法施行手續

明治三十八年縣令第十六號蠶病豫防法施行手續ノ之ヲ廢止ス
 樣式第一號

蠶種製造免許願

住 所

氏

名 (名稱)

生年月日

六八

蠶種製造場所	(郡市町村字番地)	(郡市町村字番地)
右 管 理 者	(何 某)	(何 某)
蠶兒飼育場所	(郡市町村字番地)	
右 管 理 者	(何 某)	
蠶室數及面積	(何室何坪)	

蠶具ノ種類及數	(何外何件)							
桑園反別	(何反步)							
右收葉量	(何貫)							
購入契約桑葉量	(何貫)							
掃立蠶量 概 定 數	春	何	何	何	何	何	何	何
	夏	何	何	何	何	何	何	何
	秋	何	何	何	何	何	何	何
	計	何	何	何	何	何	何	何
製 造 額 概 定 數	春	何	何	何	何	何	何	何
	夏	何	何	何	何	何	何	何
	秋	何	何	何	何	何	何	何
	計	何	何	何	何	何	何	何

蠶絲業法施行手續

六九

備考 蠶種製造場所數個所アルトキハ前表ヲ其ノ場所毎ニ作成スヘシ
第三號

生繭取扱届

取扱場所 (郡市町村字番地)	取扱豫定	取扱豫定	管理者氏名
	月日	月日	
	開所月日	閉所月日	

右及届出候也

年 月 日
知 事 宛

住 所
榮 種 氏 名 (名稱) ⑤

第四號

消 毒 届

種 目	蠶 室				種 目	平面積又ハ 數 量	消 毒 ノ 方 法	フオルマリン 使 用 量	施 行 月 日	施 行 場 所
	何 號	全	箱	籠						

右及届出候也

蠶絲業法施行手續

第五號
知事宛
掃立届

年月日
業種氏名(名稱)
七四

蠶兒飼養場	飼養場	化性化期	名稱	原種製造場	蠶種	掃立蠶數	掃立蠶量	掃立月日	記號

右及届出候也
年月日
知事宛
業種氏名(名稱)
七四

第六號
蠶兒讓渡許可申請書

記號	掃立蠶量	掃立月日	蠶種	齡	讓渡サムトスル蠶兒ノ數量	全上掃殼ノ數量

右何々事由ニ依リ何都市町村字番地何某へ譲渡致度候間許可相成度此段申請候也
年月日
讓渡人 業種 氏名(名稱)
讓受人 業種 氏名(名稱)
蠶業取締所御中
蠶絲業法施行手續
何蠶業取締所管下
七五

第七號

蠶兒讓渡(讓受)證明書

住 所
業 種 氏 名 (名稱)

七六

- 一、原蠶種製造者及原蠶種製造場所
 - 二、化性化期及名稱
 - 三、掃立月日及記號
 - 四、掃立蛾數、掃立蠶量及蠶齡(蠶兒ノ頭數、推算蠶量及蠶齡)
- 右ノ内蠶兒何頭此ノ推算蠶量何及之ニ對スル掃殼ヲ郡市町村字番地何某ニ讓渡ス(右蠶兒及之ニ對スル掃殼ハ郡市町村字番地何某ヨリ讓受ク)
- 右證明ス
- 年 月 日
- 蠶 業 取 締 所 印

備考 全圖讓渡ノ場合ニ於テハ本様式中右以下ノ文字ヲ適宜變更記載ス

第八號

臺紙記載事項變更許可願

項 目	變 更 ノ 文 字	蠶 種 ノ 枝 數
特 別 蠶 種		
普 通 蠶 種		

右何々事由ニ依リ變更致度候間許可相成度此段相願候也

年 月 日
知 事 宛
住 所
業 種 氏 名 (名稱) 印

第九號

上 簇 届
蠶絲業法施行手續

七七

蠶兒飼育場所	一	化	性	化	期	名	稱	記	號	上簇月日	種繭種類豫定月日

七八

右及届出候也

年月日

蠶業取締所御申

業種住氏所

名(名稱)印

第十號

收繭調書

記	號								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

上簇月日	整繭層等片薄量不	同功繭掛量	撰除繭掛量	種繭掛量	收繭總掛量	對蟻量一匁收繭掛量	掃立蟻量	掃立蛾數

蠶絲業法施行手續

七九

發蛾豫定期日					
特別蠶種製造豫定額					
普通蠶種製造豫定額					

右ノ通相違無之候也

年 月 日

蠶業取締所御中

住 所

業 種 氏 名 (名稱) ⑩

備考

蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依リ搬出ノ許可ヲ受ケタル商アルトキハ其ノ搬出量ヲ各環欄ノ一側ニ朱記スベシ

第十一號

搬出許可願

品 名 (記 號)	數 量	搬 出 先

右何々事由ニ依リ搬出致度候間許可相成度此段相願候也

年 月 日

知 事 宛

住 所

業 種 氏 名 (名稱) ⑩

備考 一、時限リノ搬出ニシテ再々現場ニ搬入スベキモノハ其ノ搬出期間ヲ記入スベシ

第十二號

搬出許可證

蠶絲業法施行手續

業種氏名(名稱)

採取締所印

- 一 掃殻、繭又ハ出殻繭
- 二 數量
- 三 繰出先
- 四 繰出ノ期間アルトキハ其ノ期間

右繰出ヲ許可ス

年 月 日

備考 繭又ハ出殻繭ニ在リテハ其ノ記號ヲ記載スヘシ

第十三號

掛合蠶種製造許可願

雌 蛾

- 一 原蠶種製造者及原蠶種製造場所

- 二 化性化期及名稱
- 三 掃立月日及記號
- 四 發蛾豫定日
- 五 種繭量及豫定蛾數

雄 蛾

一ヨリ五ニ至ル前ニ同シ

右掛合セ度候間許可相成度此段相願候也

年 月 日 知 事 宛

業種氏名(名稱) 所 氏 名(名稱) 印

第十四號

蠶種化性(名稱)變更願

- 一 原蠶種製造 及原蠶種製造場所

蠶絲業法施行手續

- 二 化性化期及名稱
- 三 掃立月日及記號
- 四 掃立蛾數及掃立蟻量
- 五 新ニ付セムトスル化性第何化性(名稱何々)
- 六 理由

右變更致度候間許可相成度此段相願候也

年 月 日
知 事 宛

第十五號

蠶種化性(名稱)變更許可證

業 住 氏 所 名 (名稱) 印

業 住 氏 所 名 (名稱)

- 一 化性化期及名稱
 - 二 掃立月日及記號
 - 三 掃立蛾數及蟻量
 - 四 新ニ付セムトスル化性第何化性(名稱何々)
- 右變更ヲ許可ス

第十六號

種爾證明書再下付(又ハ書換、下付)請求書

蠶 業 取 締 所 印

- 一 化性化期及名稱
 - 二 記 號
 - 三 種爾柵量
 - 四 一升ノ顆數
 - 五 發蛾歩合
- 蠶絲業法施行手續

右何々事由ニ依リ種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)相成度此段及請求候也

年 月 日 業種 氏 名 (名稱) ④
蠶業取締所御中

備考

- 一、書換ヲ請求セムトスル場合ニハ單ニ記號及種繭證明書ノ番號ノミヲ記載スルヲ以テ足ル
- 二、書換及下付ノ場合ニ於テハ讓渡スベキ又ハ讓受クベキ種繭ノ樹量ヲ記載シ尙讓受人蠶種製造者ナルトキハ讓渡人及讓受人連署シテ請求スルコトヲ要ス

第十七號

不越年蠶種稟紙捺印請求書

種繭證明書記號番號	蠶種	製造	額	發蛾豫定月日
記號番號	特別蠶種	普通蠶種	全上 一 枚 産卵 蛾數	

右及請求候也

年 月 日 業種 氏 名 (名稱) ④
蠶業取締所御中

第十八號

不越年(越年)特別蠶種母蛾検査請求書

化性	化期	名	稱	種繭證明書記號番號	特別蠶種
				記號番號	一枚數

蠶種業法施行手續

右及請求候也

年 月 日

蠶業取締所御中

住 所
業 種 氏

名 (名稱) ㊟

九〇

第二十一號

種園審查請求書

化	性	化	期	名	稱	種園證明書 記號 番號	種園樹量	發域豫定月日

右及請求候也

年 月 日

知 事 宛

住 所
業 種 氏

名 (名稱) ㊟

第二十二號

原蠶種印取消請求書

化	性	化	期	名	稱	取消請求枚數

右及請求候也

年 月 日

蠶絲業法施行手續

住 所
業 種 氏

名 (名稱) ㊟

九一

蠶業取締所御中

第二十三號

蠶種冷蔵業免許願

住所

氏名(名稱)

生年月日

九二

冷蔵場所所在地	名稱	風穴(氷室又ハ冷蔵装置)ノ構造	容積	蠶種ノ數量

冷蔵ノ始期及終期ノ豫定月日

右免許相成度別紙ヲ添付シ此段相願候也

年月日

知事宛

右

氏名(名稱) ㊟

備考

添付書類左ノ如シ

- 一、管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名住所及履歴ノ要領
- 二、風穴氷室又ハ冷蔵装置ノ圖面
- 三、節期ノ冷蔵期間ニ於ケル温度及濕度ノ調査書

第二十四號

蠶種冷蔵成績及冷蔵温度届

蠶絲業法施行手續

九三

一、蠶種冷蔵成績

地方別	委託者數	冷蔵數量	冷蔵期間	主ナル蠶種ノ種類	備考
(何縣又ハ何郡) (組合又ハ團體) (何組個人何人)	(特別蠶種何) (普通蠶種何)	枚 枚	(自何月何日) (至何月何日)	(何々、何々)	

二、冷蔵溫度

月 日	最 高 最 低		備 考
	度	度	
何月何日			

右及届出候也

住 所

年 月 日

知 事 宛

業 種 氏 名 (名稱) ㊦

備考

風穴又ハ氷室ヲ用ル者ニ在リテハ最高最低ノ區別ヲ要セス
第二十五號

鑑札下付願

蠶種行商(生贖買買)ヲナサムトスル地域	鑑札ヲ携帯スベキ者ノ氏名及生年月日
---------------------	-------------------

右相願候也

年 月 日

知 事 宛

住 所
業 種 氏 名 (名稱) ㊦

蠶絲業法施行手續

新潟縣技師
(技手)
何某印

技師ハ方七分
技手ハ方六分
肉色朱

新潟縣蠶業
取締吏員
何某印

方六分
肉色朱

新潟縣蠶
業取締所
(支所)印

方八分
肉色朱

蠶絲業法施行期日ノ件

(明治四十四年十一月二十二日
勅令第二百七十五號)

蠶絲業法ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附

錄

新潟縣原蠶種製造所原蠶種配付規程

(明治四十三年四月十一日)
新潟縣告示第百二十七號

- 第一條 原蠶種製造所ニ於ケル原蠶種ノ配付ハ總テ本規程ニ依ル
- 第二條 原蠶種ハ蠶病豫防法第二條ニ依ル蠶種製造者及全法施行規則第四十一條ニ依リ蠶種ヲ製造配付スル學校講習所又ハ試験場ニ限り無償ニテ之ヲ配付ス
- 第三條 原蠶種ノ配付ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ニ依リ原蠶種製造所長ニ請求スベシ
- 第四條 配付スベキ原蠶種ノ種類及請求期日ハ其部度之ヲ告示ス
- 第五條 前條ノ配付請求額ヲ不相當ト認ムルトキ又ハ請求數量、原蠶種ノ製造額ニ超過スルトキハ配付數量ヲ減少スルコトアル可シ
- 第六條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ之ヲ讓渡シ又ハ交換スルコトヲ得ス但止ムヲ得ザル事由ニ依リ蠶種製造ニ供用スルコト能ハザルトキハ原蠶種製造所長ニ具申シ其承認ヲ受ク可シ
- 第六條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ其配付原蠶種百蛾ニ對シ母蛾二千五百蛾以上ニ相當スル蠶種ヲ

新潟縣原蠶種製造所原蠶種配付規程

備考

製糸用種一枚ノ平均産卵母蛾數ヲ附記スベシ
飼育中ノ經過及産卵狀況ノ概況ヲ附記スベシ

右及報告候也

年 月 日

新潟縣原蠶種製造所長宛

住 所

氏

名 印

桑園増殖獎勵費交付規程

(明治四十一年四月四日縣令第二十九號
明治四十三年四月八日縣令第二十八號改正)

第一條 桑園増殖ヲ獎勵スル爲メ本規程ニ依リ獎勵費ヲ交付ス

第二條 獎勵費ハ郡、市町村、農會其ノ他ノ團體ニ於テ左ノ各號ニ該當スル施設ヲ爲シタルトキニ限

リ之ヲ交付ス

一、桑種苗ノ無償配付ヲ爲シ又ハ之ヲ目的トシテ其ノ設備ヲ爲ストキ

二、桑園ノ新設桑樹ノ植替ニ對シ獎勵金ヲ交付スルトキ

三、桑園品評會其他桑園改良ニ關シ獎勵金ヲ交付シ又ハ自ラ其施設ヲ爲ストキ

第三條 獎勵費ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ桑園増殖ニ關スル豫算及施行方法書ヲ添ヘ其年六月三十日迄ニ縣知事ニ差出スベシ

第四條 獎勵費ノ交付ヲ受ケタル團體ニシテ桑園増殖ニ關スル豫算若クハ其施行方法ヲ變更セムトスルトキハ縣知事ノ認可ヲ受ケベシ

第五條 獎勵費ノ交付ヲ受ケタル者ハ翌年三月三十一日迄ニ別記様式ニ依リ桑園増殖施行ノ成績ヲ七月末日迄ニ第三條ノ費用ノ決算ヲ縣知事ニ報告スベシ

第六條 獎勵費ノ交付ヲ受ケタル者ノ桑園増殖ニ關スル經費ノ支出額獎勵費交付ノ指令ヲ受ケタル當時ニ於ケル豫算額ニ違セザルトキハ縣知事ハ其交付シタル獎勵費ノ全部又ハ幾部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

桑園増殖獎勵費交付規則

備考

- 一、獎勵金補助金ハ第二條第三號ニ依リ團體ヨリ交付シタル金額ヲ記載スベシ
- 二、品評會以外ノ桑園改良事業モ此様式ニ準シテ報告スベシ

製絲改良獎勵補助規程

(明治四十年三月廿三日縣令第二十四號
明治四十三年四月廿二日縣令第三十一號改正)

第一條

製絲改良獎勵ノ爲メ本規程ニ依リ補助金ヲ交付ス

第二條

補助ヲ受ケムトスル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルヲ要ス

- 一、本縣在籍者ニシテ現ニ縣内ニ居住スル者若クハ其團體
- 二、前號ノ資格ヲ有スル者ノミヲ以テ組織セル會社又ハ組合

第三條

補助スベキ種類及補助金ノ程度左ノ如シ

- 一、生絲製造業者ニシテ組合ヲ組織シ共同荷造所ヲ設置シテ生絲ノ検査ヲ行ヒ東裝荷造ヲ同一ニシ且ツ一定ノ商標ヲ付シ合同販賣スル者ニシテ一ケ年五百捆以上ヲ整理スル者ニ對シテハ其設備費事務所費東裝荷造販賣費ノ一部

但シ合同販賣ヲ爲ササル者ニ對シテハ販賣費ノ補助ヲ爲サズ

前項生絲検査員ノ選任ハ知事ノ指定ニ依ルモノトス

- 二、生絲製造業者ニシテ組合ヲ組織シ共同揚返所ヲ設置シ左記事項ニ該當スル者ニハ其機械設備費ノ一部

- (イ) 組合員七名以上ニシテ揚返機械貳拾竪以上ノ設備ヲナス者
- (ロ) 一ケ年生絲五拾貫目以上揚返シ共同荷造所ニ出荷スル者
- (ハ) 技術員ヲ置キ生絲ノ検査ヲ行ハシメ且ツ揚返及製絲法ノ指導ヲナサシムル者

但シ技術員ハ知事ノ認可ヲ受クルヲ要ス

- 三、製絲場ニ設備セル揚返器械又ハ共同揚返所ニ於テ其絡交器ヲ生絲共同荷造所々定ノ網絞ニ改良スルモノニ對シテハ其改造費ノ一部

- 四、左記事項ニ該當スル者ニハ其教婦ヲ補助ス

- (イ) 町村若クハ團體ニ於テ十五名以上ノ講習生ヲ募集シテ座繰又ハ足踏ノ講習ヲナス者
- 但シ講習期間ハ三週間以上タルヲ要ス

製絲改良獎勵補助規程

(ロ) 百釜以下ノ機械製絲場聯合シテ十五名以上ノ工女ヲ養成スル者

但養成期間ハ六ヶ月以上タルヲ要ス

(ハ) 百釜以上ノ機械製絲場ニ於テ拾五名以上ノ工女ヲ養成スル者

但養成期間ハ六ヶ月以上タルヲ要ス

第四條 本規程ニ依リ補助ヲ受ケムトスル者ハ其年四月末日迄ヨ別紙様式ニ依リ申請書ヲ差出スベシ

第五條 第三條第一號第二號ニ依リ補助ヲ受ケタル者ハ五ヶ年間事業ヲ休止シ又ハ補助ヲ受ケタル物件ヲ讓渡スルコトヲ得ス若シ止ヲ得サル事由ニ依リ事業ヲ休止シ若クハ該物件ヲ讓渡セントスルトキハ豫メ知事ノ認可ヲ受ケベシ

第六條 第三條第三號ノ補助ヲ受ケタル者ハ左ノ各號ヲ遵守スベシ

- 一、講習生及養成スベキ工女ハ本縣在籍者ニシテ現ニ縣内ニ居住シ傳習修了後三ヶ年間縣内ニ於テ製絲ニ従事シ得ル者タルヲ要ス
- 二、講習又ハ養成規程ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受ケベシ
- 三、講習又ハ養成開始並終了月日ハ其郡度届出テ且講習生並工女ノ族籍住所氏名年齢及成績ヲ終

了後直ニ知事ニ報告スベシ

第七條 補助金ハ第三條第一號第二號ノ設備費ニ對シテハ工事竣工後第一號ノ事務所費(検査員給ヲ除ク)東裝荷造販賣費ニ對シテハ其精算額ヲ査定ノ上之ヲ交付ス

第八條 知事ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該官吏ヲシテ臨檢セシメ又ハ隨時命令ヲ發スルコトアルベシ

第九條 本規程ニ違背シタル行爲アリト認メタルトキハ何時ニテモ補助ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ一部若クハ全部ヲ還納セシムルコトアルベシ

第十條 本規程ニ依リ知事ニ差出スベキ書類ハ所轄町村役場郡市役所ヲ經由スベシ

附 則

第十一條 本規程第四條補助出願期日ハ明治四十三年ニ限り五月末日迄トス

第十二條 従前ノ規程ニ依リ補助ノ指令ヲ交付シタルモノニシテ四十二年度内工事ヲ竣成セザルモノニ對シテハ尙従前ノ規程ヲ適用ス

共同荷造所(共同揚返所、製絲講習工女養成)補助申請

製絲改良獎勵補助規程

自分共儀(共同荷造所、共同揚返所)ヲ設置又ハ製絲講習、工女養成(致度ニ付明治四十三年四月
縣令第三十一號製絲改良獎勵補助規程ニ依リ補助相成度別紙調書相添ヘ此段申請候也

年 月 日

住 所

氏

名

(數人共同ナラハ連署シ
法人ナラハ代表者名トス)

知 事 宛

添付スベキ調書

一、共同荷造所ニ就テハ

(イ) 荷造所ノ圖面(所在地敷地共)

(ロ) 工事着手及竣工ノ豫定月日

(ハ) 經費ノ豫算及賦課徵收方法並決議錄
但設備費事務所費束裝荷造販賣費ニ就テハ別ニ詳細ナル調書ヲ添付スベシ

(三) 一ヶ年間ニ荷造スベキ生絲柵ノ數

(ホ) 組合定款

(ハ) 製絲改良獎勵補助規程第二條ニ對スル當該市町村長ノ證明書
一、共同揚返所ニ付テハ

(イ) 揚返所ノ圖面(所在地敷地共)

(ロ) 生絲乾燥裝置

(ハ) 揚返料ヲ徵收セントスル者ハ其料金額

(三) 工事着手及竣工ノ豫定月日

(ホ) 設備費豫算及事業經營費豫算ノ詳細

(ハ) 共同者經費負担及損失分担ノ方法 契約書アラハ添付ノコト

(ト) 製絲改良獎勵補助規程第二條ニ對スル當該市町村長ノ證明書
一、製絲講習及工女養成ニ付テハ

(イ) 講習所又ハ養成所ノ位置

製絲改良獎勵補助規程

- (ロ) 講習又ハ養成開始及終了の日
- (ハ) 講習又ハ養成規程
- (ニ) 講習又ハ養成員數

桑苗下付規則

(明治四十年八月縣令第六十四號
明治四十一年七月縣令第五十二號改正)

- 第一條 縣立樹苗養成所附屬桑園ニ於テ養成スル桑苗ハ無代下付ス
- 第二條 下付スベキ桑苗ノ種類及本數ハ毎年八月並十二月之ヲ告示ス
- 第三條 桑苗ノ下付ヲ受ケントスルトキハ左ノ期日迄ニ一市町村又ハ一大字ノ出願者選舉シ若干名ノ
總代人ヲ定メ第一號様式甲ニ依リ下付願書ヲ縣知事ニ差出スベシ
町村大字學校組合農會ハ共同者ノ出願ニ係ルトキハ其代表者ヨリ第一號様式乙ニ依リ下付願書
ヲ縣知事ニ差出スベシ
春期植栽セントスル者ハ 一月末日限
秋期植栽セントスル者ハ 九月十五日限

第四條 山林原野若ハ疎蕪地ヲ開墾シテ桑園ヲ新設スル者ニアラザレハ桑苗ヲ下付セズ但町村大字學校組合農會又ハ共同者ノ經營ニ係ル場合ハ此限リニアラズ

- 第五條 桑園壹反麥當リ下付本數ハ左ノ範圍ニ依ル
- 一、喬木 仕立 七拾五本以内
 - 二、高刈 仕立 五拾本以内
 - 三、中刈 仕立 千貳百本以内
 - 四、根刈 仕立 千貳百本以内
 - 五、速成 仕立 參千本以内

第六條 桑苗下付ノ許可ヲ受ケタル者ハ指定期日ニ之ヲ受取ルベシ若シ其期日ニ受取ラサルトキハ下付許可ノ効力ヲ失フコトアルベシ

- 第七條 桑苗ノ下付ヲ受ケタル者ハ左ノ各號ヲ遵守スベシ
- 一、桑苗ハ指定期間内ニ植栽スベシ
 - 二、下付ノ桑苗ハ出願ノ個所以外ニ植栽スベカラズ

桑苗下付規則

- 三、下付ノ桑苗ハ買置譲與又ハ交換スベカラズ
- 四、下付桑苗植栽ノ桑園ニハ適應ノ手入、施肥及保護ヲ加フヘシ
- 五、下付桑田植栽後五年以内ニ其桑園ヲ廢止シタルトキハ第二號様式ニ依リ其理由ヲ具シタル届書ヲ縣知事ニ差出スベシ
- 六、前號期間内ニ於テ桑園ヲ買置又ハ譲與シタルトキハ七日以内ニ當亭者連署ノ上第三號様式ニ依リ届書ヲ縣知事ニ差出スベシ
- 第八條 桑苗ノ下付ヲ受ケタル者ハ當該吏員ノ植栽地又ハ假植地ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第九條 第七條又ハ第八條ニ違背シタル者ニハ下付桑苗ノ時價相當金額ノ全部又ハ幾分ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
- 第十條 本則ニ依リ縣知事ニ差出ス書類ハ植栽地所轄ノ町村役場及郡市役所ヲ經由スベシ
- 第十一條 本則ハ明治四十年八月十日ヨリ施行ス

第一號様式甲

附 則

桑苗下付願
一桑苗 何本

別紙明細表ノ通

明治四十年八月縣令第六十四號桑苗下付規則遵守可致候間前書ノ桑苗御下付相成度（借地契納書附本添付）此段相願候也

年 月 日
縣 知 事 宛

桑苗下付願明細表

出願者惣代 住 所
氏 名

桑苗種類	植栽地々籍	植栽地所有者	植栽反別	仕立方法	本數	一反歩當	下付出願者
							住所氏名印

桑苗下付規則

第二號樣式

縣知事宛

下付苗植栽桑園廢止届

郡市町村大字地番地目

一桑園(混成桑園)

何町何反步

下付許可年月日番號

年月日.....號

下付桑苗數

何本

植栽濟年月日

年月

事由

(廢止ノ事由ヲ詳記スベシ)

右ノ通今般桑園廢止致候間此段及御届候也

年月日

住 所 氏 氏
代 表 者 氏 氏

名 名
名 名

縣知事宛

第三號樣式

下付苗植栽桑園賣買(讓與)届

郡市町村大字地番地目

一桑園(混成桑園)

何町何反步

下付許可年月日番號

年月日.....號

下付桑苗數

何本

植栽濟年月

年月

事由

何々ノ爲メ讓與(賣買)

右ノ通今般賣買(讓與)致候ニ就テハ買受人(讓受人)ニ於テ明治四十年八月縣令第百六十四號桑苗下付規則遵守可致依テ連署及御届候也

年月日

賣渡人(讓渡人) 住 所 氏 氏

(代表者) 氏 氏

名 名
名 名

桑苗下付規則

縣知事宛

買受人(讓受人)

住所

氏

(代表者)

氏

名

(印)

一九四

名

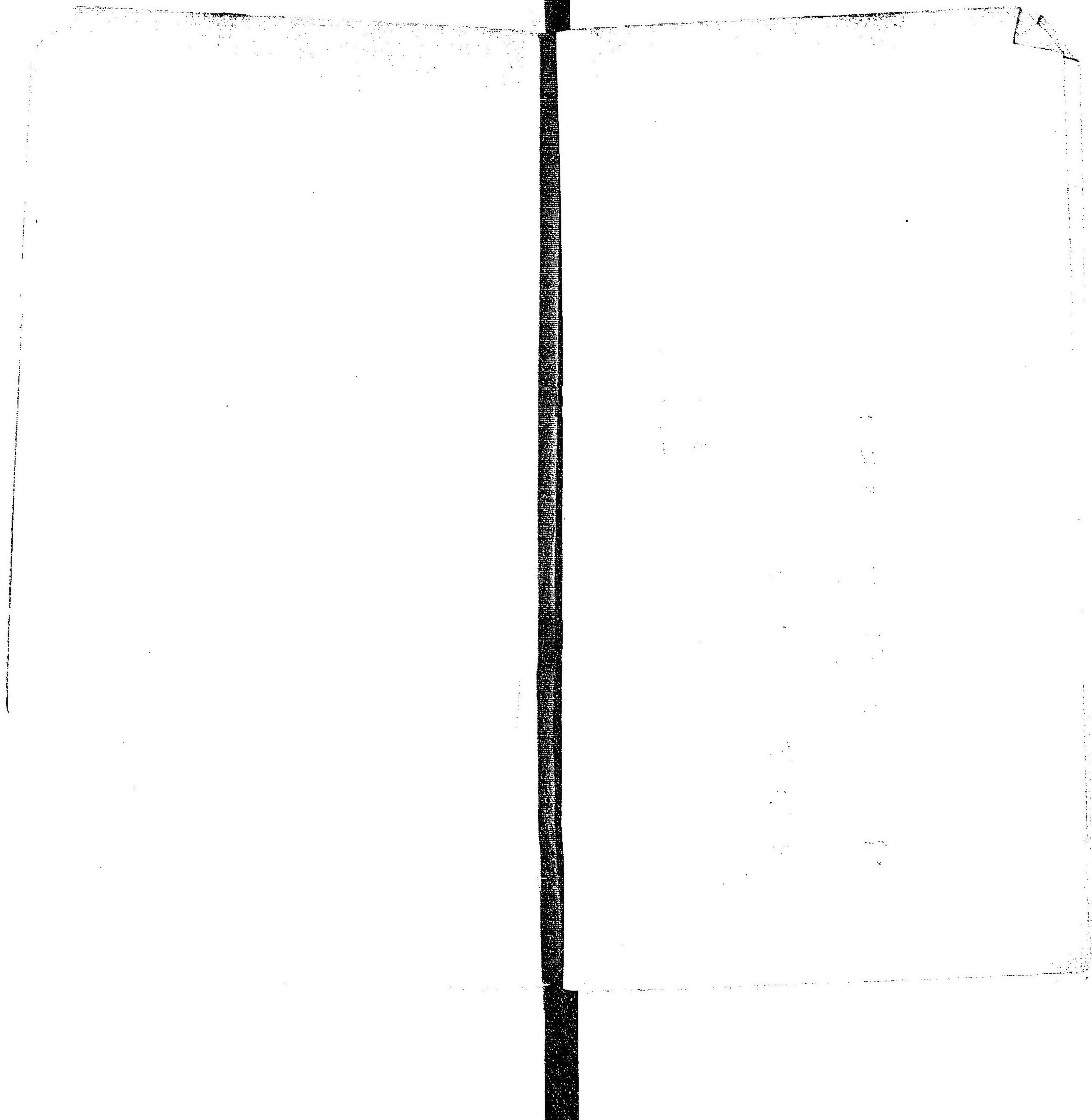
(印)

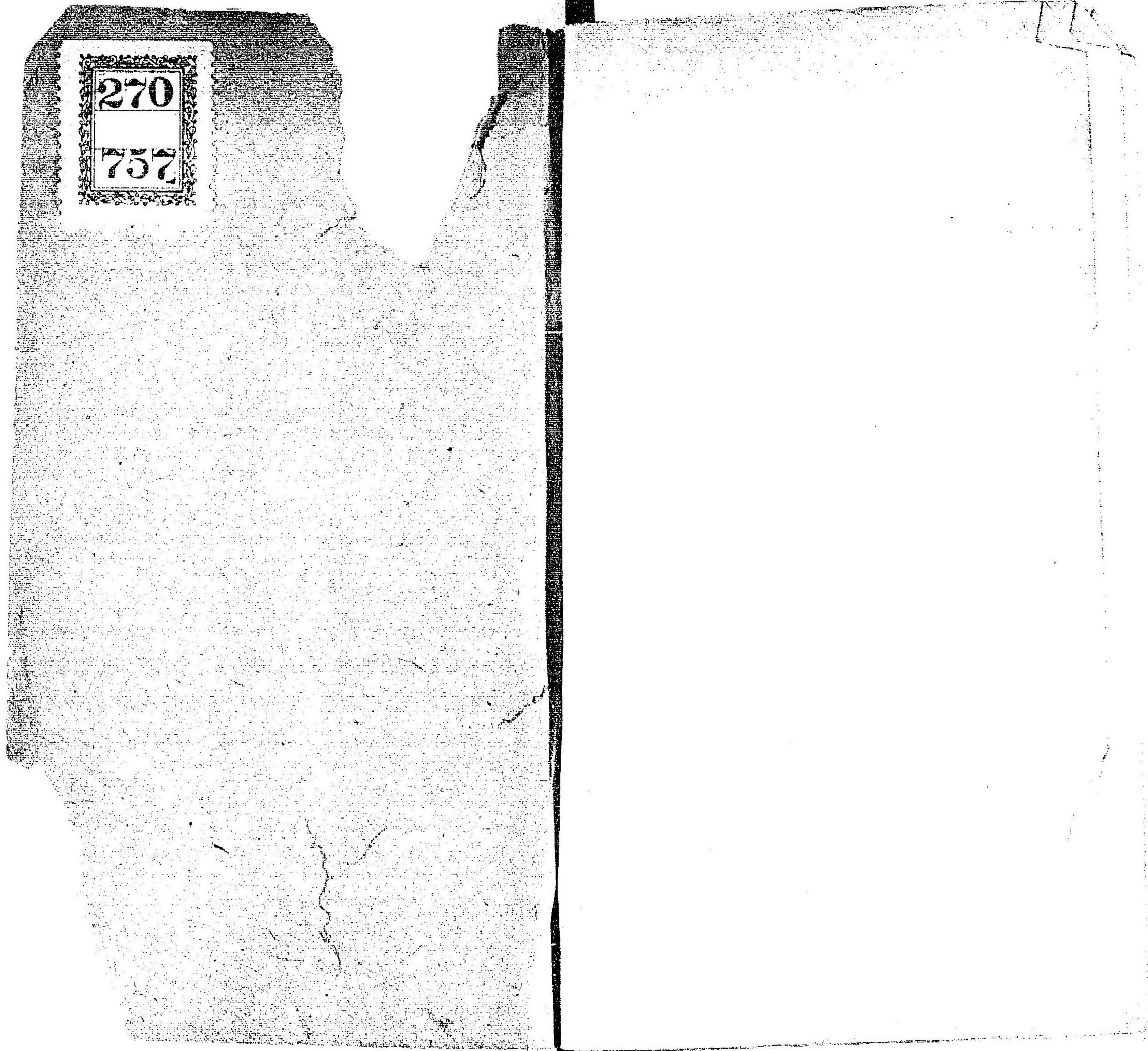
明治四十五年三月二十三日印刷
明治四十五年三月二十五日發行

新潟縣內務部

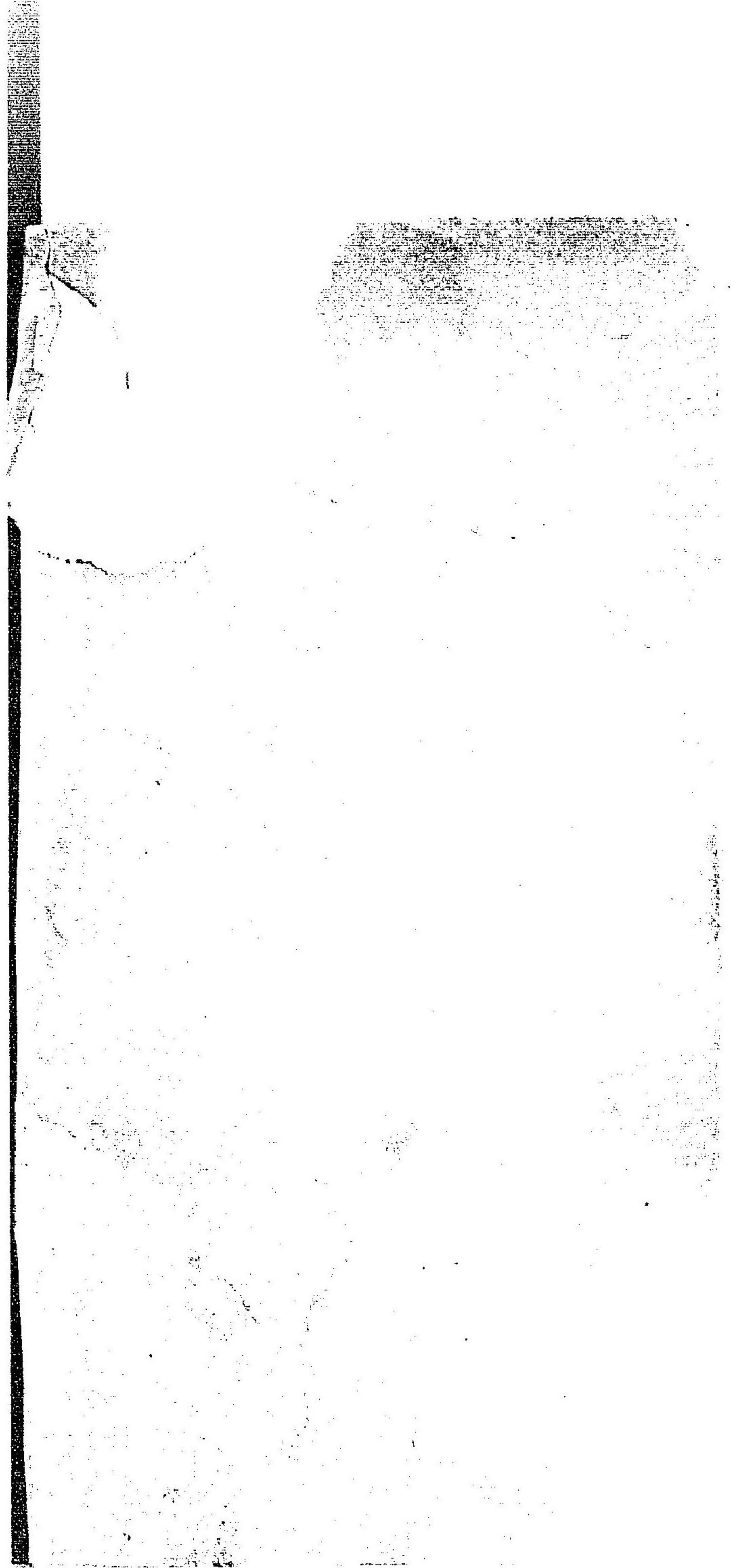
新潟縣新潟市東堀前通十一番町

印刷所 北越印刷所





270
757



C
14
44

蠶糸業法規



270
757

037617-000-7

CZ-1431-44-02

蠶糸業法規

新潟県内務部

M45

BBU-0233

